平成29年度

事　業　報　告

社会福祉法人

三原市社会福祉協議会

目　　次

【事 業 総 括】　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

1　地域福祉活動の推進に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

2　福祉ボランティアの町づくりに関すること　・・・・・・・・・・・・・・　22

3　福祉教育に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　23

4　高齢者福祉に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24

5　障害者（児）福祉に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26

6　共同募金・地域歳末たすけあい募金運動　・・・・・・・・・・・・・・・　26

7　日本赤十字社事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26

8　心配ごと相談事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　27

9　ボランティア・市民活動サポートセンター　・・・・・・・・・・・・・・　28

10　生活支援資金貸付事業に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・　31

11　権利擁護事業に関すること　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　31

12　生活困窮者自立支援事業（自立相談支援センターみはら）に関すること　・・33

13　障害者生活支援事業（ドリームキャッチャー）　・・・・・・・・・・・・　35

14　高齢者相談センターはーもにー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　40

15　介護保険事業並びに障害者自立支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・　42

16　福祉関係機材の貸し出し状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　48

17　社協会費・寄付金受入状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　48

18　役員・評議員及び職員の研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　48

19　理事会・評議員会・正副会長会議・部会・監査の実施状況　・・・・・・　49

【 事　業　総　括 】

少子高齢化の進展により，私たちの暮らす地域社会では，単身世帯や高齢者世帯の増加など世帯構造の変化が加速しています。あわせて，介護保険制度改正など，小地域福祉活動への期待され，相談機能充実，専門職の連携など地域包括ケア体制づくりが重要になっています。
こうした情勢の中，三原市社会福祉協議会では，５つの重点目標をたて事業の推進をしました。

１．生活圏域・小地域を基盤とした福祉活動推進組織（支え合いの地域づくり）の育成，支援と民生委員・専門機関と連携体制の構築
２．障害者福祉の推進
３．制度の狭間や複雑な課題を抱えている生活困窮や権利擁護ニーズに対し，他機関と連携しながら，問題解決と世帯の自立に向けて継続的な支援が図れるよう相談支援の充実を図る
４．介護保険事業所のサービスの向上と効率的運営
５．より適正な法人運営と経営機能の強化

法人運営・各課（地域福祉課・福祉支援課・障害福祉課・介護事業課・総務課）の事業について次の通り報告いたします。

【法人運営・各課毎の事業報告】

地域福祉課

介護保険制度等の改正において，地域の支え合いや専門職と協働した地域づくりの必要性が増す中で，地域福祉の推進において，①住民懇談会等住民啓発，②小地域福祉活動（サロン・見守り・地域の支え合い），③包括ケアの体制づくりを重点に事業を実施いたしました。
住民啓発については，全域では地域福祉講演会の開催，小学校区，地区社協エリアでは，住民懇談会等住民啓発とあわせて，地域課題の共有や解決方法について協議する場を設けました。小地域においては，常設サロン，サロン活動や見守り活動の推進を図りました。地域の組織化（協議体）については，平成２７年度に受託した三原市生活支援体制整備事業と連携し，社会資源の見える化（食や住民活動など），住民ボランティアの育成とあわせて，民生委員，地域包括支援センター等専門職と連携した地域支援（包括ケア体制づくり）に取り組みました。特に，地域包括支援センターとの連携については，定期的（月１回）な会議を持つことで，高齢者の介護予防・社会参加の取組であるサロン活動の育成・立ち上げ，見守り事業でのネットワーク会議への参加など，情報提供や顔の見える関係づくりを進めており，住民活動と協働した地域課題の解決機能の基盤づくりを進めてきました。地域見守り推進事業は，民生委員と住民活動と連携し，２１地域，対象者５２６人，地域ボランティア２９７人で年間２８，８３９回の見守り活動に取組いただきました。
生活支援体制整備事業においては，小学校区を圏域に５つの協議体を設置，また，７つの学区において協議体の設置の働きかけを行ってきました。
小地域福祉活動・個別支援の取組について，サロン活動実施地区２０３地域，年間延べ参加者は６０，９３１人となっており，前年比で１割増となっています。一方でサロンボランティア登録者（１，５８４人）は横ばいとなっており，活動者への負担が増している状況がうかがえます。常設サロンの取組は１０地域であり，県社協の「お茶の間づくり事業」の助成を活用し，新規１地域，継続４地域での拠点・ネットワークづくりを支援しました。サロン等拠点活動の参加者は延べ７７，９７３人で前年比約７％の増となりました。また，新たな住民活動の取組について，常設サロン活動の取組から，地域の支え合い活動（生活支援）も新たに１地域立ち上がりました。このことで，今後，生活支援の取組を検討される地域も複数出ています。
個別支援の取組にいては，住民参加型福祉サービス「ほっとはーと」（自主事業），認知症高齢者家族やすらぎ支援事業（市委託）の事業を実施し，ほっとはーと事業においては，利用者１１９人で前年比２割増となっています。主な支援内容は掃除等の家事支援が多く，最近の傾向として一人暮らし認知症の高齢者の支援（話し相手）が増えています。また，認知症高齢者と同居する家族支援事業である「やすらぎ支援事業」においても，利用者２４人で年間延べ７７５時間の支援時間で前年比２割増となりま

した。
　次世代を担う児童・生徒への福祉教育の推進については，昨年に引き続き市内３４の小中学校・幼稚園等を社会福祉協力校として指定いたしました。夏期体験学習の実施については，社会福祉施設と連携し３１人の中高生の参加をいただきました。また，学校での福祉学習では，ボランティア団体のご協力をいただき，中学校３校，小学校５校での福祉学習の支援を行いました。

（１）地域包括支援センター（高齢者相談センター）
　高齢者相談センターはーもにーでは，総合相談・支援，権利擁護，包括的継続的ケアマネジメント，介護予防ケアマネジメント，認知症施策の推進等の業務を行っています。担当地域の総人口（平成３０年３月３１日）は１０，６５７人，うち高齢者人口は４，６９６人／高齢化率４４．１％）で，５年前と比較し総人口は１，４８５人減少，高齢者人口は85 人増加となっており，高齢者を支える若い世代の減少が著しい状況にあります。
　そのような中，介護予防ケアマネジメントでは利用者の６割強が８５歳以上の高齢者で占められており，高年齢になっても在宅生活が継続できるよう，自立支援に向けたケアマネジメントに努めてきました。権利擁護に関する相談件数は前年度比２倍強増加をしており，高齢者虐待や権利擁護に関する制度の理解が住民や民生委員・専門職等の間で深まりつつあると推測されます。認知症施策の推進では，「認知症にやさしいまち久井」を目指し，認知症に対する基礎的理解を深める講座を久井町全域と５自治区で実施しました。
　近年の傾向として生活困窮や家庭内に複数の要支援者が存在する多問題事例への対応が増えており，他領域の関係機関との連携・協働の一層の促進や，周辺領域に関する知識の向上等を図る必要があります。

（２）三原市ボランティア・市民活動サポートセンター
　ボランティア・市民活動の育成支援を目的に，各団体との情報共有の場づくり，災害ボランティアの育成など事業の推進を図りました。
　登録団体は９８団体２，７３４人で，施設支援２５％，技術支援１５％で，ＮＰＯ法人の登録は１０％となっています。年間の相談受付件数は４，６３７件，また，需給調整は８０４件です。施設訪問のコーディネートが７４％と高く，児童関係・「文化，まちづくり」がいずれも９％，朗読等コミュニケーション支援が５％となっています。
　平成２８年度から運営委員会を設け，平成２９年度は運営委員会のご意見を基に，新規にＮＰＯ交流会を開催し，情報交換の場をもちました。また，本年は「まちづくり講習会」を開催するなど，従来の登録団体に加え，住民活動団体・ＮＰＯ団体との情報交換や協働のきっかけづくりに取り組みました。
　災害ボランティア登録・育成については，三原市防災ネットワーク会議のご支援をいただき，災害時のボランティアセンター運営・活動について研修会の開催などに取り組みました。災害ボランティアの登録数は３７人です。

福祉支援課

　生活福祉資金においては，相談件数，実際の貸付件数共に前年度とほぼ変わりがない状況です。貸付の希望理由としては生活費の不足や物品購入のための資金についてのものが多く，貸付要件に当てはまらないものや返済計画の見通しが難しいなどの理由で実際の貸付に至るケースは少なくなっています。
状況に応じて別制度利用の提案などをしています。生活保護申請者への緊急つなぎ資金は昨年の４割程度の増加となっており，こちらは担当課と連携をしながらの対応を続けております。
　福祉サービス利用相談援助事業「かけはし」は利用人数が７０人となり，昨年度５９人から２割近い増加となっています。利用者割合は精神障害者が最も多く，次いで認知症高齢者となります。関係機関を通しての相談が多く，本人との意識差から利用につながらないケースや状況把握に時間がかかる場合など，ケースの複雑さが目立ってきています。利用開始となったケースは都度他機関等と情報交換や役割分担しながら対応を行いました。後見事業については，新規１件，死去による終了が３件で年度末の時点では９件の利用者となりました。受任ケースのほとんどが身寄りがいない，あるいは家族関係の難しさがあるため，死去後の対応についても葬儀等の実施やその後の相続等の問題が発生することが多く，課題となっています。

生活困窮者自立支援事業は３年目となり新規の相談件数は３０４件，昨年度から７１件，初年度と比べて倍の相談者増となっております。相談対応延べ件数も１，０００件近くなっており，初年度からしたら約３倍の状況です。相談内容についても複雑なものが増えており，特に社会的な孤立や引きこもりの問題など行政や関係者等と連携して対応することが増えてきています。

２９年度から開始となった緊急食糧支援事業については９人に２５０食の提供を行いました。生活保護受給者の利用も一定数あり，支援の線引に悩む部分はありますが，制度利用や相談の継続につながることで生活の見通しがつくことも多く，今後も有用に活用できればと考えております。

障害福祉課

障害者生活支援事業は，相談支援事業・地域活動支援センター事業をおこなっています。

相談支援事業では、障害者総合支援法及び児童福祉法による指定相談支援，また三原市委託相談支援事業者として，幅の広い専門的な相談支援を実施しています。

運営にあたっては，利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように適切な障害福祉サービス等が総合的かつ効率的に提供されるよう努めています。平成２９年度は相談件数６，９１０件で主な相談内容は,制度（サービス等）利用に関する事・家族関係・人間関係に関する支援について多くありました。その他、医療的ケアが必要な障害児者への支援や発達障害の思春期・青年期の支援については,医療・教育・行政を交えて、平成３０年も引き続き協議をしていく予定となっています。また，本人のニーズに添った支援について、地域自立支援協議会や加盟団体等で他の相談支援事業所との情報交換を行う事で必要な支援体制づくりにつながっています。サービス等利用計画作成については,相談支援専門員４人が，月平均障害者２７人・児童２４人のプラン作成・モニタニングに取り組んでいます。

地域活動支援センターでは,一人ひとりのエンパワーメントを高めるための支援として,交流や創作活動等場の提供をおこなっています。平成２９年度年間３，６５８名月平均１５人の利用者数となります。教室・サポート・研修・サロン活動などの様々な活動に参加経験を重ねる事で,一人ひとり生活を豊かにしていく力となっています。中でも、思春期プログラムやサイクリングでは，ＮＰＯ法人や県立大学学生との企画運営で行う事が出来ました。今後も個々のニーズに応じた個別支援計画を作成し、地域の社会資源も活用しながら支援をおこなっていきます。

介護事業課

介護保険事業，障害者自立支援事業においては，平成２９年度介護保険制度改正に伴い，要支援の方が介護保険事業から地域支援事業として，介護予防・日常生活支援総合事業への完全移行の年となりました。介護保険・障害者支援等を含め，安定した事業を営むために利用者確保に努めてまいりましたが，利用者が減少し減収となる状況が続いています。居宅全体の延べ利用者数は２，６１４人，通所介護全体の延べ利用者数は１，９７８人，訪問介護全体の延べ利用者数は１，５７２人，訪問入浴の述べ利用者数１７８人となり，前年度に比べ６．０％減となっています。また収益率も介護事業全体として１．０％減となっていますが，経費等の削減を基本としながら，体制加算等による増収を図る等，稼働率を上げるよう努力をしてまいりました。

また，職員の確保・育成につとめ，利用者の自立支援や地域で安心して暮らしていただけるよう，事業所間の連携や外部，内部研修の実施，医療・保健・福祉関係機関と連携し，ケアマネジメントやサービスの質の向上に努めました。

平成３０年度へ向け，人材確保，適正な人員配置，働きやすい職場つくり等とあわせて，利用者確保により一層安定した事業運営への取り組みが必要となっております。

法人運営・総務課

法人運営については，引き続き社会福祉法等の改正に伴う福祉サービスの供給体制の整備及び充実に取り組みました。

その内，事業運営の透明性の向上については，財務諸表と現況報告書等の公表を行う一方で，ホームページや広報誌等活用した本会から一層の情報発信にも努めました。平成２９年度は理事会４回，評議員会２回開催し，事業計画・報告及び財務・規程改正等協議，承認をいただきました。また，財務規律の強化については，適正かつ公正な財務管理に努めました。

また，社協会費（住民・賛助会費）は前年比で９７％で５，２５６，６４０円の納入状況となりました。寄付金は８，０６０，９６１円で前年比７割増となりました。

福祉活動事業財源である共同募金運動については，住民自治組織，市民・企業等のご協力により，１３，１４６，８０２円（前年比９８％）の募金をいただき，日本赤十字社事業は９，６５２，３９２円（前年比９９％）の会費（募金）のご協力をいただきました。

人材育成については，三原市福祉・介護人材確保等総合支援事業での協議会を社会福祉施設・民間事業者等のご参加をいただき，実態調査の実施を行い今後の方策を検討いたしました。社会福祉協議会職員の法令遵守及び生活設計の研修の実施，包括ケア，地域共生等制度改正と社協部門間連携について課を横断しての研修を実施いたしました。

事業概要の詳細については，目次（１）地域福祉活動の推進に関することから，（１９）理事会・評議員会・正副会長会議・部会・監査の実施状況までの１９項目に記載の通り報告いたします。

１．地域福祉活動の推進に関すること

（１） 地区社会福祉協議会の活動

地域の福祉課題を捉え，より具体的な福祉活動（事業）を展開していく，地域住民が主体となった住民組織として，地区社協活動に当たっての相談・助言，また，活動支援・育成に努めた。

①本郷地域センター

地区社協数　４地区社協

主な活動　・保育所，幼稚園，小学校，高校との交流（野菜づくりや昔の遊び体験，うどん作りなど）

・高齢者との交流（ふれあい訪問活動，一人暮らし高齢者へ花の配達，敬老会，高齢者の集い，いきいき健康教室，福祉まつり等）

・常設サロンの運営（ひよりや船木）

・地域サロンの拡充と支援

地区社協会長会議（第１回）

日　時：平成２９年　６月１６日（金）１０：００～１１：３０

会　場：三原市本郷福祉センター

内　容：・社協会費納入状況について

・市社協役員の改選について

・地域センター事業について

・敬老会の開催について

地区社協会長会議（第２回）

日　時：平成３０年　２月　８日（木）１０：３０～１１：４５

会　場：三原市本郷福祉センター

内　容：・第３層協議体設置に向けた働きかけについて

・平成３０度地域福祉推進員研修会の開催について

課　題　本郷地域には，４つの地区社会福祉協議会が組織され福祉活動を実践されているが，役員の高齢化と担い手の不足が課題となっている。福祉活動への理解や呼びかけは継続するとともに，地域の他団体とも協働し，担い手確保に努めていきたい。

②久井地域センター

地区社協数　４地区社協

主な活動　・敬老会，給食サービス，ニコニコ会食，子育て交流会，本の読み語り会，ふれあい交流会，３世代交流会，健康づくり事業，地域見守り推進事業

③大和地域センター

地区社協数　２２地区社協

主な活動　・地域環境美化活動，地区事業推進(とんどまつり，納涼祭等)，高齢者支援活動(サロン活動，敬老会，友愛訪問，見守り活動，独居老人給食サービス等)，地域ふれあい活動，地域児童とのふれあい活動，研修会等

連絡会議及び地域福祉推進リーダー・サロン支援者研修会（第１回）　参加人数　２５人

日　時：平成２９年　７月１９日（水）１４：００～１６：００

会　場：三原市大和保健福祉センター

内　容：・「人・モノ・場」でつなぐ地域の絆づくり

～「ふれあい・いきいきサロン」活動から学び考える」～

ＮＰＯ法人 心の絆ネットワーク理事　薬真寺　満里子　氏

・グループワークにより地域活動の課題，問題について意見交換

連絡会議（第２回）　参加人数　９人

日　時：平成３０年３月２３日（木）１０：００～１１：００

会　場：三原市大和保健福祉センター

内　容：・平成２９年度地域福祉活動助成事業報告書及び平成３０年度地域福祉活動助成金交付申請書提出について

・他地域の地区社協活動について

・平成３０年度大和地域センター取り組み事業について

・第２層協議体「活き活きネットだいわ」の推進状況について

課　題　地域に高齢者世帯が増加し若い世代が減少する中で，今まで通りの地域活動を進めてい

くことが難しい状況が多くの地域で見られるようになった。集いの場や介護予防体操など社協主導の事業を取り入れながら地域の場づくりを推進して行く必要がある。

（２）介護予防普及啓発事業「楽々貯筋クラブ」の推進

介護予防の一環として，地域指定を行い，運動機能向上，口腔機能向上等のプログラムを連続１０回行う。また，この活動を通じて地域での仲間づくりを行い，終了後はサロン結成の働きかけを実施し，孤立がない地域づくりを目指す。今年度は，全１０回を３会場で計画されていたが，H29 年度末での事業廃止が決定し，２会場のみの実施となった。

対象者　おおむね６５歳以上の者で，介護予防に関心のある一般高齢者および，虚弱傾向の高齢者，引きこもり傾向の高齢者

内　容　理学療法士による運動指導　　歯科衛生士による口腔衛生講座
管理栄養士による熱中症・低栄養予防講座

開催状況　（単位：人・回）

区　　分		開 催 期 間	延べ人数	実人数	回数
三　原	地域：宮浦中央町内会 会場：宮浦ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ	１１月１４日 ～１月２９日	１４０	１９	１０
本　郷	地域：木々津町内会 会場：木々津公民館	１１月１４日 ～１月３０日	１３０	１６	１０
合　計	２地区	－	２７０	３５	２０
前年度計	６地区	－	７５４	１０１	６０

（３）地域の福祉をすすめる会の組織化

地域福祉活動推進のための相談・助言，事業の見直しや新たな事業の企画など，地域福祉事業の発展的推進を図ることを目的に本郷・久井・大和地域センターエリアで組織化する。

①本郷地域センター（結成　平成１８年　１月２０日）

第２層協議体本郷中学校区地域福祉ネットワーク「ファミリーネット本郷」としてスタート

②久井地域センター（結成　平成１８年　９月２２日）

メンバー　　１２人

会議開催状況

福祉専門職もテーブルに参加し，地域課題集約や地域で取り組めることを考える場（2層協議体久井地区地域福祉ネットワーク会議「福祉ネット久井」）としてスタートしたため，久井地域の福祉をすすめる会としては開催していない。現在休止中。

③大和地域センター（結成　平成１７年１０月１日）

メンバー　　１４人

会議開催状況

平成２９年　６月２８日（水）　１４時００分～１６時００分　　参加人数　７人

・すすめる会のあり方について
・小地域福祉活動の取り組みについて意見交換

（４）小地域ネットワーク会議の推進

住民が，地域の問題を発見・共有し，解決に向けた活動が協議できるネットワークづくりを目的に，市内２地域で実施する。このネットワークづくりは，住民の福祉ニーズが集まり，解決に向けた活動ができる，「誰もが安心して生活できる地域づくり」を目指し推進を行った。

①三原地域センター

中之町中町内会地域あんしん会議「中之町中町内会関係団体等連絡協議会」

定例会議等　（町内ふれあい・いきいきサロン３団体　地域子育て支援サロン１団体　老人クラブ３団体　ボランティア１団体　民生委員児童委員４人　高齢者相談センター　市社協）

日　時：平成２９年５月２４日（水）１４時３０分～１６時００分

会　場：倉之内公民館

内　容：平成２９年度　会議開催計画
サロン活動状況報告　老人クラブ活動状況報告
町内のサロン活動や民生委員活動に関する情報交換並びに連絡調整
日　時：平成２９年１０月２５日（水）１４時３０分～１６時００分
会　場：倉之内公民館
内　容：サロン活動状況報告　老人クラブ活動状況報告
町内のサロン活動や民生委員活動に関する情報交換並びに連絡調整
独居高齢者を取り巻く情勢について意見交換
日　時：平成３０年3月２８日（水）１４時３０分～１６時００分
会　場：倉之内公民館
内　容：サロン活動状況報告　老人クラブ活動状況報告
町内のサロン活動や民生委員活動に関する情報交換並びに連絡調整
課　題　　エリア内の老人クラブ・サロン団体・民生委員・町内会事務局等をメンバーに日常の活動団体運営の課題を報告する場となっている。構成団体から会員減少，町内会から脱退希望者の増加といった課題が多く出されている。高齢者人口は多い地域であり，今後の地域福祉活動の推進のため，地域課題を共有する議事運営を図る必要がある。

②久井地域センター

○吉田地区

吉田地区地域あんしん会議兼見守りサポート定例会議：年４回開催

平成２９年　６月　３日　見守りサポート状況の報告・情報交換等
９月　２日　見守りサポート状況の報告・情報交換等
１２月　２日　見守りサポート状況の報告・情報交換等
平成３０年　３月　３日　見守りサポート状況の報告・情報交換等

（５）社協型活動総合推進事業「地域のお茶の間づくり事業」（県社協指定）

目　的：小地域において，地域住民や関係者が協働して地域住民の生活のしづらさ（生活課題）を把握・共有し，それらの生活課題に気づき合い解決していくためのしくみ作りを企画・展開する。

◯実施地区：須波ハイツ町内自治会地区（３ヵ年事業の１年目）

事業年度：平成２９年度～平成３１年度（３年）

主な取組：平成２８年度に住民アンケートを実施し，既存のふれあい・いきいきサロンに加え，週１回程度の常設サロン及び住民の福祉相談窓口の設置を目指し，自治会執行部・民生委員・社協の連絡会議を重ねた。また，団地内の福祉活動団体（ふれあい・いきいきサロン・老人クラブ）と自治会執行部・民生委員・社協が定期的に顔を合せ，団体運営の課題が協議できる福祉関係団体連絡会議を開始。平成２９年度に常設サロン活動を開始する方針とし，担い手の説明会を実施した。

成　　果：住民アンケートの結果をもとに自治会執行部・民生委員・社協の連絡会を重ね，住民の福祉課題と常設サロン活動開設方針が共有できたこと，地域福祉活動に関心を示す住民の存在を自治会執行部も知ることができた。

◯実施地区：本郷町本郷地区（３ヶ年事業の３年目）

事業年度：平成２７年度～平成２９年度（３年）

主な取組：・週１回サロンを開催し，一人暮らし高齢者や日中一人で過ごすことの多い高齢者が，気軽に立ち寄れる場づくりを行う。
・地域の生活課題を把握，共有し，住民が主体的に課題解決に取り組める仕組みづくりを検討するためにテーブルを組織化し，毎月定例会を開催して継続的に協議する。
・地区全体の町内会長，民生委員児童委員，　地域福祉推進員，サロン世話人等，地区で福祉に関わる人の横のつながりをつくり，地域の「気になること・課題」等を話し合う研修会を実施する。

成　　果：・３年間で１１人が広島県社協主催「あんしんサポートリーダー研修」に参加し，変化に気づくための視点や支え合い活動のすすめ方などについて学んだ。
・今年度は子育て世代との交流を目的に世代間交流のイベント（ミニ夏祭り）をお茶の間サロンで開催し，高齢者と若い世代との交流の機会を図った。
・地区内で関係者を集めた研修会を行い，それぞれの活動を通しての地域の気づきを共有

することができた。今後は住民が主体的に課題解決に取り組める仕組みづくりやサロンのない地域へ出向く出前サロンの実施に向けて検討を重ねていきたい。

〇実施地区：久井町中野地区（３カ年事業の３年目）

事業年度：平成２７年度～平成２９年度（３年）

主な取組：見守り活動対象者（約１００人）を対象に食に対するアンケートを実施。得られた結果から，食の支援が必要となる。やまなみ・ひろば（食の支援）を立ち上げ，住民の集う場作づくりを行い，見守り活動と連携し，地域住民の生活課題の把握に努める。送迎のニーズもあり，男性の役員で対応。小地域福祉活動計画づくりのため，会議の中でワークショップを開催。サロン・見守り活動で感じた対象者，地域の課題を整理し，優先順位でをつけた。その中でできること・優先順位の高いことを中心に計画化した。

成　　果：計画づくりを通し，ニーズも明確になり，指定終了後も事業を継続していくことを確認。今後は様々ある活動の充実化，もしくは地域内の関係機関（地区社協・福祉をすすめる会）と連携し，地域内の生活支援活動・総合相談窓口の設置に取り組む。

〇実施地区：大和町和木地区（３ヶ年事業の３年目）

事業年度：平成２７年度～平成２９年度（３年）

主な取組：・地域の生活課題の調査（お茶の間サロンでの運営委員による生活課題の聞き取り）
・生活課題に対する取組み支援「和木ふれあい支援隊」の立ち上げについて協議
・一人暮らし高齢者世帯の緊急な入院時や災害時に対応する為のあんしん袋の設置検討

成　　果：・お茶の間サロンに於いて，聞き取った生活のしづらさや困りごとなど生活課題について解決方法として，「和木ふれあい支援隊」立ち上げの為の協議を行い，実施要綱案を作成し，自治振興会や地区社協へ働き掛け，来年度より活動することとなった。
　又，お茶の間サロンも平均５７人の方が毎回参加され，人の集まる場が定着し，「高齢者が安全で生き生き暮らせる地域づくり」に向けた取り組みが形となっている。

〇実施地区：久井町坂井原地区（３カ年事業の２年目）

事業年度：平成２８年度～平成３０年度（３年）

主な取組：サロンばんちゃの運営（７５歳以上一人暮らし・二人暮らしを対象）
サロン終了後に支援者間で情報共有するため，話し合いを持つ。サロン参加者の生活課題やその背景などを話し合う。サロン・中山間実行委員会共催の担い手養成研修会を実施（講師：県社協地域福祉課）。

成　　果：お茶の間フォーラムに参加（４人）。他地域の取り組みを学び，坂井原地区に生かせる内容を検討。１００歳体操に取り組むため，サロンを毎週開催とし，サロン開催日には看板を設置し，ちょっと寄っていける場を目指す。またはあんしんサポートリーダーの中から「地域支援員」が選出され，相談窓口となる体制を整備した。

（６）小地域ささえあいネット活動推進事業（県社協指定）

〇実施地区：久井町吉田地区（２カ年事業の１年目）

事業年度：平成２９年度～平成３０年度（２年）

主な取組：吉田おたすけ隊の立ち上げ
新たに吉田専門部会（地域内の医療・福祉関係の有資格者のグループ）を立ち上げ，中山間地域活性化実行委員・吉田地域支援員とともに「吉田おたすけ隊検討委員会」にて協議を繰り返した。地区内アンケートにてニーズを明確にし，活動メニュー・利用料金の検討，区会にて活動の広報・協力者の募集を行った。

成　　果：平成３０年１月　吉田おたすけ隊スタート。地域支援員・区長・民生委員を中心に，地域住民の困りごとに耳を傾け，地域内で支援していく仕組みがスタートした。自治区内・常設サロン等で周知・広報活動を行い，相談窓口へ相談が寄せられている。お助け隊の支援内容，相談窓口の機能を充実させるため，平成３０年度は視察研修を予定されている。

（７）生活支援体制整備事業の推進

高齢者の在宅生活を支えるため，市と町内会等住民自治組織，地区社会福祉協議会，民生委員児童委員，住民ボランティア，社会福祉法人等（以下「地域の関係者」という。）が連携し，介護予防サービスを含む重層的な生活支援体制づくりを図ることを目的とする。

①生活支援コーディネーターの配置

地域資源の実態把握と地域資源の開発，地域に不足するサービスの創出支援，担い手と活動の場の調整，関係者間の情報共有と連携体制づくりを行うために，生活支援コーディネーターを４人設置

②担い手の養成及び担い手と活動の場のマッチングを行う

○高齢者生活支え合いサポーター養成講座の実施

目　的：新たな担い手や民間団体と連携した多様な人材の育成，住民主体の互助活動の育成支援，住民参加型福祉サービスの人材養成を行う

南部：日　時　　平成２９年１１月２９日（水）・１２月　６日（水）１３時３０分～１６時００分
　　会　場　　三原市総合保健福祉センター４階　第１研修室

北部：日　時　　平成３０年　２月　９日（金）・　２月１６日（金）１３時３０分～１６時００分
　　会　場　　三原市久井保健福祉センター１階　研修室１

修了者は２日間とも受講された者とし，高齢者生活支え合いサポーターとして地域の多様な団体へ登録し活動を行う。本会においては「ほっとはーと事業」への登録を呼びかける。

受講者７７人（８３人）　修了者４６人（７０人）　ほっとはーと登録者１０人（１０人）

※（　）内，前年度値

内　容　　（単位：人）

	内容	講師	受講者数	
			南部	北部
１日目	・住民活動の必要性と意義	県立広島大学　　手島　洋　氏	31	45
	・支え合いサポーターとして必要な基本的事項	県立広島大学　　手島　洋　氏		
	・老年期について ・認知症について	＜南部＞養護老人ホーム ひかり苑　　藤川　守　氏 ＜北部＞デイサービスセンター ふぁみりぃみつぎ 高山　直久　氏		
２日目	・自立支援とは	＜南部＞高齢者相談センター どりぃむ　　前川　和子　氏 ＜北部＞高齢者相談センター はーもにー　景山　好美　氏	27	39
	・介護保険制度の改正と三原市の現況について	三原市高齢者福祉課		
	・高齢者への生活支援や地域活動の紹介	三原市社会福祉協議会		

成　果：大学や専門職など各機関等より講師を派遣いただき，またＪＡ三原による講座参加への呼びかけなど関係機関の協力を得られた。また新たな担い手の養成，既存活動者の育成支援を図ることができた。

課　題：修了者の活動の場として「ほっとはーと」への登録のみであり限定的。また生活支援の実活動へ結びついていない状況がある。

③協議体の設置・運営

地域住民と地域の関係者間の定期的な情報共有と連携強化，地域づくりの推進を目的とする。

○第１層協議体

実施回数：３回（６，９，２月）

主な取組：暮らしを支えるインフォーマルな社会資源の見える化として，配食サービス事業者，食料品店，スーパーへ在宅生活者への配達等サービスについてアンケート調査実施し，事業者意向の公開範囲において市のホームページに掲載または専門職への配布を行った。

（アンケート調査９１社，市のホームページ掲載数２４社）

また，市生涯学習課と連携し，市内コミュニティセンターおよび公民館の講座一覧表を作成し，地域の関係者へ配布した。

地域住民による生活支え合いの担い手養成を目的に，高齢者生活支え合いサポーター養成講座の企画・開催を行った。

○第２層協議体（久井地区地域福祉ネットワーク会議）

実施回数：６回（５，７，８，１０，１，２月）
主な取組： 会議の中で「認知症の普及啓発の必要性」を整理し，久井町内合同防災訓練の中で全域版，各自治区単位にて小地域版として，「認知症にやさしいまち“久井”を目指して」を展開した。
　また，移動に関するニーズも上がっており，他地域の調査やワークショップ，担当課の出前講座を通し，「実際に移動に不安を感じている住民」を対象に聞き取り調査を実施きるよう協議を進めている。

○第２層協議体（本郷中学校区地域福祉ネットワーク会議）
実施回数：７回（４，５，７，８，１０，１２，３月）
主な取組：各委員へのアンケートより住民活動や事業内容の共有と地域課題の整理を行っている。
１０月には県立広島大学教授を講師に招いて「地域づくり勉強会」を開催し，協議体委員だけでなく，地域福祉推進員や民生委員，サロン活動者などを対象に，介護保険制度改正とその背景や，これからの地域福祉活動に期待されていることなどを学んだ。
課　　題：把握した課題の中には担い手や後継者の不足，サービスや使える資源を知らない，地域住民の関心の薄さなどがあがった。住民の意識を高めるための啓発をしていくとともに，地域にある他の団体，専門職，商店やタクシーなど事業者とも横のつながりを作っていく必要がある。

○第３層協議体（本郷町南方地区地域福祉ネットワーク会議）
実施回数：３回（１０月，１２月，２月）
主な取組：南方地区の地域の現状や課題を把握し，安心して暮らせる地域にするためにはどんな取り組みが必要か検討する。

○第２層協議体（大和中学校区地域福祉ネットワーク会議）
実施回数：６回（５，７，９，１１，１，３月）
主な取組：地域内の資源について情報共有と，地域全体で福祉を学ぶ機会創出について協議。

○第２層協議体（鷺浦町内会地域福祉ネットワーク会議）
実施回数：３回（７，１１，２月）
主な取組：地域の生活課題の情報共有と，生活支援活動の取組の事例提供

○第２層協議体（須波連合町内会地域福祉ネットワーク会議）
実施回数：４回（８，１１，２，３月）
主な取組：地域課題把握に向けアンケート調査の協議

④生活支援体制整備事業の普及啓発・広報

○住民啓発
・田野浦小学校区サロン交流会
日　時：第１回　平成２９年　７月２２日　１０時００分～１２時００分
　　第２回　平成２９年１０月２８日　１０時００分～１２時００分
・佐木区見守り活動勉強会・説明会
日　時：第１回　平成２９年　７月２１日　１９時３０分～２０時３０分
　　第２回　平成２９年１２月　１日　１９時００分～２０時００分
・小浦町内会見守り活動説明会
日　時：平成２９年　８月２７日　１９時００分～１９時３０分

○住民懇談会・地域ケア会議
・南方地区福祉ネットワーク会議
日　時：平成２９年　７月３０日　１０時００分～１１時３０分
参加者：３４人
・本郷地区住民福祉座談会
日　時：平成２９年　８月２６日　１０時００分～１１時４５分
参加者：４４人
・大西町内会福祉懇談会
日　時：平成２９年１１月１１日　１８時３０分～１９時３０分
参加者：２５人
・本郷町北方社協研修会
日　時：平成２９年１２月１１日　１３時３０分～１５時２０分

参加者：２２人

○勉強会

・田野浦町内会

日　時：平成２９年６月２３日　１０時００分～１１時３０分

内　容：認知症サポーター養成講座

参加者：２０人

・久井地域

日　時：平成２９年６月１８日　１０時００分～１２時００分

内　容：災害に強い福祉の地域づくり＆認知症勉強会

参加者：２３６人（対象：久井中学生，保護者，地域住民）

・久井町中野地区「支え合いのまちづくり」研修会

日　時：平成２９年　７月２１日　１９時００分～１９時４０分

内　容：地域内住民互助の必要性について

参加者：４５人

・本郷地域づくり勉強会

日　時：平成２９年１０月２０日　１３時３０分～１５時３０分

内　容：福祉医療制度の動向や，地域づくりの必要性について，県大教授（金子努氏）による講演

参加者：７６人

・久井町羽倉地域

日　時：平成２９年１１月１０日　１８時００分～１９時００分

内　容：認知症勉強会

参加者：４４名

・北方地区第１回ふれあいサロン連絡会　　平成２９年　６月２３日

⑤関係機関との連携

○社会福祉協議会・高齢者相談センター連絡会議

目　的：　定期的な連絡会を通して互いの業務を知り，地域支援・個別支援からの地域課題を擦り合わせていくことで，地域アセスメント，協働した地域への働きかけ，地域ケア会議・協議体への地域課題の投げかけを目的とし，各高齢者相談センターと社会福祉協議会の連絡会を概ね月１回実施

・高齢者相談センターどりぃむ　　１２回
・高齢者相談センター三恵苑　　１２回
・高齢者相談センター医師会　　１２回
・高齢者相談センター大空　　１１回
・高齢者相談センターはーもにー　１１回

○関係機関主催会議への出席

・　久井町地域包括ケア推進会議
・　第３区民協と久井町関係機関連絡会議
・　第１１区民生委員児童委員と大和町関係機関との連携会議
・　西部包括圏域福祉関係者「多職種連携交流会」
・　東部包括圏域「多職種連携会議」
・　高齢者相談センター・高齢者相談窓口連絡調整会議

○関係機関との情報共有

・　三原市生活環境課（地域コミュニティ交通）
・　三原市生涯学習課（コミュニティセンターの情報）
・　三原市危機管理課（自主防災組織について）
・　三原商工会議所（食の資源見える化）
・　大和自治振興会事務局（地域交通について）
・　本郷町町内会長連合会（地域交通について）

⑥住民主体型訪問・通所サービス事業の推進・運営

○事業説明会の実施

・　三原ダイヤハイツ自治会　　平成２９年　９月２５日
・　大和町椹梨地域くわのみ会　　平成２９年　９月２６日

・　久井町江木地区　　平成２９年１０月　５日
・　久井町中野地区　　平成２９年１０月　５日
・　久井町吉田地区　　平成２９年１０月　５日
・　大和町和木地区　　平成２９年１０月１０日

（８）地域福祉担い手養成・啓発活動

①地域福祉講演会（第１講）

日　時　　平成２９年１１月１８日（土）１０時００分～１２時００分
会　場　　三原市市民福祉会館　大会議室
内　容　　災害時要援護者と住民活動
講　師　　ローカリズム・ラボ　代表　井岡　仁志　氏
参加者　　町内会自治会，自主防災組織関係者・民生委員・サロン関係者・見守り活動関係者等
　　７１人

②地域福祉講演会（第２講）

日　時　　平成２９年１２月９日（土）１０時００分～１２時００分
会　場　　三原市市民福祉会館　大会議室
内　容　　「社会福祉の制度改正（地域共生）と住民自治組織の関係（役割）」
　　～住民主体のまちづくりを改めて考える～
講　師　　ローカリズム・ラボ　代表　井岡　仁志　氏
参加者　　町内会自治会関係者・民生委員・サロン関係者・見守り活動実施地区関係者　５６人

③地域福祉講演会（第３講）

日　時　　平成３０年1月２７日（土）１０時００分～１２時００分
会　場　　サン・シープラザ　第１研修室
内　容　　「住民ネットワークづくりの必要性と地域福祉活動のすすめ方」
　　～住民座談会の開き方のポイントの整理と実践方法について～
講　師　　県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科　講師　手島　洋　氏
参加者　　町内会自治会関係者・地区社協・民生委員・サロン関係者・見守り活動実施地区関係者
　　３９人
課　題　　昨年より時期を前倒して実施し，地域福祉活動に関心を示す地域に対し，個別に訪問し地域福祉推進の契機としているため，参加地域数の増加及び小学校区などエリアを絞った研修会の検討が必要である。

④本郷地域センター

・やる気スイッチを押すなら今！～発見・挑戦・充実を体験～（全２講）（ボランティアセンターと共催）

日　時　　平成２９年１２月１３日・２０日（水）１０時００分～１２時００分
会　場　　三原市本郷生涯学習センター１階　研修室１・２
内　容　　普段の生活を振り返り，自分の健康や幸福につながる重要な活動やその影響について考え，より充実した生活を送るための手がかりを見つけ，何かをやってみるきっかけを見つける。
講　師　　県立広島大学保健福祉学部作業療法学科　講師　高木　雅之　氏
参加者　　延べ４２人
課　題　　対象者を「何かやりたいことを探している人」とし，現在つながりが少ないと感じている人をターゲットにしたが，実際に参加された方はすでに何かしらのつながりを持っている人が多く，社協やボランティア・市民活動サポートセンターとのつながりがない人へ情報を届ける人の難しさを実感した。

⑤大和地域センター

・地域のための介護予防セミナー（３回講座）

第１回　日　時：平成３０年　２月　７日（水）１４時３０分～１６時３０分
　　会　場：三原市大和保健福祉センター
　　内　容：「元気で長生き介護予防運動」
　　講　師：白龍湖病院　理学療法士　谷川　幸志　氏
　　仁和の里　　理学療法士　妹尾　一岳　氏

参加人数：４０人

第２回　日　時：平成３０年　２月１５日（木）１４時００分～１６時００分

会　場：三原市大和保健福祉センター

内　容：「在宅で介護する家族と地域の支え合い」

講　師：世羅町社会福祉協議会　事務局長　岡田　恭子　氏

参加人数：３２人

第３回　日　時：平成３０年　２月２６日（月）１４時００分～１６時００分

会　場：三原市大和保健福祉センター

内　容：「いきいきと楽しい健康体操」

講　師：健康運動指導士　横山　有里　氏

参加人数：３１名人

課　題　今年度は，地域のサロンや活動の中で介護予防に取り組んで頂けるような内容や，認知症の方への関り方について，介護されている体験談を通して，地域の支え合いについて考えて頂き，地域全体で気にかけ合う地域になって頂けるような研修会を開催した。今後も地域で実践できる研修会を提供できるように務める。

（９）地域ふれあい支え合い活動

1. 地域ふれあい・いきいきサロン事業

①地域別活動報告　（単位：団体・人・回）

	センター名	団体数	会員数	会員 男	会員 女	ボランティア数	延べ活動人数	延べ活動回数
1	三原地域センター	94	2,462	690	1,772	830	42,335	2,665
2	本郷地域センター	51	1,429	658	771	284	8,607	694
3	久井地域センター	33	381	90	291	259	6,033	544
4	大和地域センター	25	341	112	229	211	3,956	297
	合　計	203	4,613	1,550	3,063	1,584	60,931	4,200
	前年度計	207	4,715	1,463	3,252	1,587	55,219	3,934

※延べ活動人数は，延べ参加会員に延べ参加ボランティアを加えた人数

② 主な活動内容

・食事と健康づくり　・茶話会　・料理実習及び会食　・血圧測定と健康講話　・友愛訪問活動

・スポーツやレクリエーション　・市役所や高齢者相談センターによる出前講座

課　題　今年度新規サロン開設５ヶ所（三原地域４，本郷地域１，大和地域０，久井地域０）である。一方で，休会のサロンが７ヶ所発生している。

2. サロン研修会

①三原地域センター

・ふれあい・いきいきサロン基礎研修会

日　時　平成２９年　７月３日（月）１０時００分～１２時００分

会　場　三原市市民福祉会館　５階　大会議室

内　容　「認知症について」

講　師　県立広島大学　保健福祉学部　作業療法学科　准教授　西田　征治　氏

・食中毒の予防について

・ふれあい・いきいきサロンの実務について

参加者　６９人（３５サロン）

・ふれあい・いきいきサロン研修会

日　時　平成２９年　１０月２９日（日）１０時００分～１１時４０分

会　場　ペアシティ三原西館２階　市民ギャラリー

内　容　「小地域福祉活動（サロン活動）の取り組みから見えてきたこと

～地域課題に目を向けた住民活動～」

講　師　江田島市大柿町柿浦地区お茶の間サロン「笑福亭」リーダー　大本　哲郎　氏

江田島市社会福祉協議会　地域福祉課　主任主事　土手　悠介　氏
参加者　　２６人（２０サロン）

②本郷地域センター

・第１回ふれあいサロン研修会

日　時　　平成２９年　８月３１日（木）９時３０分～１１時００分
会　場　　三原市本郷福祉センター　３階　第１研修室
内　容　　・事務連絡
・研修「コグニサイズに挑戦してみよう！」
講　師　　県立広島大学　保健福祉学部　理学療法学科　助教　高宮　尚美　氏
参加者　　３９人（１７サロン，３地区社協）

・第２回ふれあいサロン研修会

日　時　　平成３０年　３月　６（金）１０時００分～１１時３０分
会　場　　三原市本郷福祉センター　３階　第３研修室
内　容　　・事務連絡
・研修「すこやかに，安全に～高齢者の安全管理と応急手当～」
講　師　　日本赤十字社広島県支部　比谷　千鈴　指導員
参加者　　２２人（１５サロン，２地区社協）

③久井地域センター

・地域福祉活動者交流会

日　時　　平成３０年　３月１０日（土）１３時３０分～１５時３０分
会　場　　三原市久井保健福祉センター
参加者　　１９５人
内　容　・昨年度サロン川柳カルタが完成したことにより，名称を「ふれあいサロン大会」から「地域福祉活動者交流会」に変更した。
・「地域福祉活動者交流会実行委員会」を立ち上げ，（地域内の地域福祉活動者より公募），地域福祉活動者交流会を主催した。
・久井中学校生徒５人もボランティアとして参加し，会場案内や出演者の補助など協力をしていただく。
・八幡地域の和太鼓グループによるオープニング，広島県社会福祉協議会会長表彰・三原市社会福祉協議会会長表彰の伝達表彰，三原警察所による寸劇，健康体操，講演「活動における心のリフレッシュ」（講師：キャリアデザイン研究所　井手口　ヤヨイ　氏）
サロン手作り作品の展示・販売
・行事の企画から準備，片付けまで地域の活動者に主体的に動いていただいた。

④大和地域センター

・サロン支援者研修会　　参加人数　２５人

日　時：平成２９年　７月１９日（水）１４時００分～１６時００分
会　場：三原市大和保健福祉センター
内　容：・～「人・モノ・場」でつなぐ地域の絆づくり～
－「ふれあい・いきいきサロン」活動から学び考える」－
ＮＰＯ法人 心の絆ネットワーク理事　薬真寺　満里子　氏
・グループワークによりサロンの課題，問題について意見交換

3. 常設サロン「ひよりや」の状況

①本郷ひよりや（平成１６年　５月開設）

会　場　　三原市本郷福祉センター（三原市下北方）
日　時　　月曜日～金曜日　１０時００分～１６時００分
延べ開催回数：２７５回　　延べ参加者：２，９７５人（ボランティア含む）
特　色　　土日祝を除き，毎日開催されている。曜日毎に世話人と活動内容が異なり，それぞれ違った魅力がある。小物作り，絵手紙，編み物などがあり，特に健康マージャンには男性の参加も多数ある。

②ひよりや船木（平成１６年１２月開設）

会　場　　船木ふれあいセンター（本郷町船木）
日　時　　毎週木曜日　１０時００分～１５時００分

延べ開催回数：　４８回　　延べ参加者：８５４人（ボランティアを含む）
特　色　　船木地区社協の事業として，毎月の行事計画を地域に広報しながら活動されている。地域のボランティアによる会食，いきいき百歳体操，気功，歌声，絵手紙，ペタンク，マグネット吹き矢，グラウンドゴルフ等，いろいろな活動を展開されている。

③いっぷく（平成１９年　３月開設）
会　場　　三原市久井保健福祉センター（久井町和草）
日　時　　毎週木曜日　　１０時００分～１５時００分
延べ開催回数：　４３回　　延べ参加者：　３５４人（前年度比＋１０７人ボランティア含む）
特　色　　ボランティアグループ“ぷくぷく”のメンバーが交代でお世話をしている。毎週，担当者の特色のある手作り料理が好評である。手芸・おしゃべり・読書など，何をしてもいいし何もしなくてもいい場所，ほっと一服できる“みんなが主役”の場所である。月末の火曜日は“ぷくぷく”の定例会議で，楽しいアイデアを持ち寄っている。
　定期的な利用者や新しいボランティアも増えた。久井町全体を対象とした常設サロンであり，地域を超えた交流ができる場である。参加者の中に介護者がおられ，支援者に相談，相談内容を支援者がケアマネジャーにつなぎ，不安感の解消につながったなど，自治区を超えたつながり，相談支援体制ができている。

④やまなみ（平成１９年　7月１６日開設）
会　場　　中野福祉プラザ（久井町山中野）
日　時　　9時００分～１７時００分
延べ開催回数：　２２９回　　延べ参加者：２，２１０人
特　色　　だれでも気軽に利用できる場・話を聞く話す仲間づくりの場・出会いを大切にし，困ったことや悩みを話し合える場・知恵やひらめきを伝える場として活動している。また，お茶の間サロンの活動やボランティアの活動拠点としても利用している。
平成３０年度から１００歳体操に取り組むにあたり，協議をする場としても活用した。

⑤本町地域活動センター「本町縁がわサロンいろは」（平成１９年７月開設）
会　場　　空き店舗（三原市本町）
日　時　　毎週水・土曜日　　１０時００分～１６時００分
延べ開催回数：　１６９回　　延べ参加者：１，８９７人（ボランティアを含む）
特　色　　空き店舗を改装し，８町内会の町内会・民生委員・老人クラブ・地域ボランティアが運営委員会を組織し運営している。従来から参加する高齢者層に加え，地域の子どもが参加する行事も実施している。また，住民同士の自主的な活動も行われ，地域住民の交流の場となってきている。

⑥なごみ（平成２０年１１月　１日開設）
会　場　　吉田コミュニティセンター（久井町吉田）
日　時　　毎週金曜日　１０時００分～１５時００分
延べ開催回数：　４４回　　延べ参加者：１，１３０人
特　色　　民生委員・自治区役員・サロン代表者・老人クラブ・女性会・地域ボランティアが運営委員会“なごみの会”を組織し運営している。参加費は１００円。ボランティアの皆さんもやりがいを感じ，利用者同士の交流も深まっている。百歳体操をはじめ，さまざまな講座を開催し，地域の介護予防の拠点となっている。

⑦ひよりや・くわなし（平成２０年１１月２９日開設）
会　場　　空き店舗（大和町椋梨）
日　時　　月１０日回程度開設　9時００分～１６時００分
延べ開設日数：１２１日　　延べ参加者：約1，７４８人
特　色　　ボランティアグループくわのみ会が中心となり，地域の拠点として開設した常設サロンひよりや・くわなしも９周年を迎えた。活動も定着し，おしゃべりカフェや子ども達とのふれあい活動として，夏休みや冬休みを利用した交流会も実施した。
　昨年，お助け隊を立ち上げ，サロン利用者の生活課題・地域課題の把握と解決に向けた活動を推進している。

⑧牛山（平成２５年　4月　１日開設）
会　場　　久井の市会館（久井町江木）
日　時　　毎月３～４回　（第２・第４火曜日）

延べ開催回数：３７回　　延べ参加者：４６１人

特　色　　広島県社協事業「小地域のお茶の間づくり事業」を受託し，地域の課題を協議・解決する拠点として常設サロンを立ち上げる。小地域のお茶の間づくり事業指定終了後も，活動を継続することができ，サロンや見守り活動で気になることはふれあいの町見守り部会で協議し，専門職へつなげる活動をしている。

⑨常設サロンひよりや　ダイヤサロン（平成２５年１１月１１日開設）

会　場　　団地内空き店舗を改装し開設（沼田東町末広ダイヤハイツ）

日　時　　月曜日～金曜日　１０時００分～１６時００分

延べ開催回数：　２３５回　　延べ参加者：４，３３０人（ボランティアを含む）

（対前年度比：１日増　２６７人増）

住民互助活動：オタスケマン活動　利用人数９２人　利用回数：２５２回

特　色　　昭和４９年に分譲が開始された大型団地。住民の高齢化が進み，住民が集い交流する場の需要が高まりを受け開設し，４年が経過。平成２６年度から取り組む広島県社協事業「小地域のお茶の間づくり事業」が終了し，集う場づくりに加え，平成２８年度には住民互助の生活支援の取り組みが開始。住民と福祉専門職のネットワークが構築され，安心して暮らせる地域づくりに取り組む。

課　題　　サロン活動は地域の集う場として定着し，一旦減少した参加者も増加傾向となったが，今後も幅広い住民の参加とつぎの担い手の確保は課題である。住民による軽度の生活支援活動を通じ，個別の支援は実施しており，地域の福祉課題化とつぎの活動の検討をすすめるため，引き続き専門職との協力体制を強化する必要がある。

⑩「和木お茶の間サロン」（平成２７年７月２日開設）

会　場　　和木地域ふれあい交流センター

日　時　　毎月第１，第３木曜日　１０時００分～１５時００分

延開催回数：１９回　　延参加者数：１，０８３人（５７人／１回）

特　色　　毎月第１，第３木曜日の月２回開催している。旧小学校校舎(和木地域ふれあい交流センター)を利用しているため，多様なメニューがある。今年度より「１００歳体操」も取り入れるなど，介護予防にも力を入れ，気軽に立ち寄り，交流ができる場が作られている。毎回食事を３００円で提供しており，参加者増にも繋がっている。開設して２年が経過し，集う場として定着してきた。また，お茶の間サロン運営委員会を毎月第３木曜日のサロン終了後に開催され，参加者の状態や生活ニーズの聞き取り，サロンチラシ配布時の気になる方の状況などの情報を出し合いながら，サロンの活性化・困りごと支援の対策に取り組まれている。

4. 地域子育てサロン活動実績

①サロン実績　　（単位：人・回）

	団　体　名	保護者	子ども	ボランティア	延べ活動人数	延べ活動回数
1	子育てサロンだっこ	４０	４６	１６	５４４	１２
2	わんわんサロン	６５	７２	１７	４２６	１２
3	田の浦わいわいきっず	１８	２０	１４	３８５	９
4	にこにこクラブ	４４	４７	２３	４１０	１２
5	梅林の里　西野	８２	９４	１７	６７２	１２
6	須波あいあいキッズ	２８	３５	１５	４２０	１２
7	絵本クラブ　さくら	６	９	１０	２９１	２３
8	どろんこＫＩＤＳ	１１	２０	２	１０６	１７
9	赤ちゃんサロン いないいないばあ	１０	１０	０	７８９	３８
10	はたけサロン ちゅうりっぷ	１３	２０	２	１３２	１４
11	きっずサロン わんぱくらんど	９	１６	０	２７８	１２
12	子育てサロン∞本郷	１７	２０	９	５５５	２２

13	サロンバンビ	２０	３０	6	１３４	１１
14	おはなし愛らんど	9	１６	2	９４	１２
15	育楽子♪会	１８	２２	4	１０１	8
16	すくすくサロン	１３	１５	１８	５４５	２４
合　　計		４０３	４９２	１５５	５，８８２	２５０
前年度計		３３９	４６１	１７３	６，３０８	２６１
今年度新規開設		０				
サロン数計		１６（三原地域８，本郷地域４，久井地域２，大和地域２）				

②子育てサロン交流会の開催

（本郷）

第１回子育てサロン交流会

日　時　　平成２９年　８月　８日（火）　８時００分～１４時００分

会　場　　三原市本郷保健福祉センター　調理室・健康相談室・和室

内　容　　はたけサロンちゅうりっぷ主催「夏の収穫祭」に参加し，料理を作りながら交流を図る。

参加者　　４２人（４サロン）

第２回子育てサロン交流会

日　時　　平成３０年　３月１３日（火）１０時００分～１１時３０分

会　場　　三原市本郷保健福祉センター　健康相談室２

内　容　　・事務連絡

・各サロンの活動状況について

参加者　　８人（２サロン）

③子育て関係者とのネットワーク

本郷町「子育て関係者との連携会議」への参加

毎月１回，保健師・主任児童委員・母子保健推進委員・子ども図書館などの関係者と連携。１歳～就園前の子どもとお母さん，高齢者との世代間交流会の開催など協議。子育てマップや子育て防災マップを作成し，母子保健推進委委員の協力を得て，子育て世帯に配布している。

平成２９年　４月１１日　「春のぽかぽかサロン」　参加者５０人（支援者含む）

平成２９年１０月２４日　「なかよしサロン」　参加者１０５人（親子，高齢者，支援者含む）

課　題　　地域や他の子育てサロンとの連携および相談支援機能の充実をさせる。

④発達障害児サポート

（大和）発達応援座談会

日　時　　平成３０年３月３１日（土）１０時００分～１４時３０分

会　場　　三原市大和保健福祉センター２階

内　容　　発達障がい者の子供の思春期に起こりやすい問題の実態とその対応の方法

発達障がい児を持つ親のための子供の育て方のペアレントトレーニング　ワークショップ。

講　師　　特別支援教育　スーパーバイザー　木原　庸子　氏

参加者　　９人

⑤新入学児童交通安全事業（大和地域センター）

大和小学校新入学児童に，登下校の安全を願って，黄色交通安全帽子と黄色傘を寄贈する。

共同募金活動による配分金を財源とした取り組みであることを，学校，保護者にＰＲした。

対象児童数　　２８人（男児１０人　女児１８人）

5. お正月を一人で過ごされる，一人暮らし高齢者に「おせち料理」を届ける活動推進

お正月を一人で過ごされる一人暮らし高齢者に，地域のささえあいによる心温まるお正月を送っていただくため，地域の住民が「おせち料理」を持って訪問することにより孤立感を減らし，新しい年を迎えていただくために活動を推進する。

（単位：人）

No.	実　施　地　区		配布人数	延べボランティア数
1	糸崎松浜西町内会		27	10
2	糸崎駅西町内会		62	20
5	港町　御作事町内会　御作事サロン		22	5
6	本町　堀川町内会		30	7
7	東町３丁目町内会		15	6
8	深町連合町内会		12	18
9	中之町上町内会		22	22
10	中之町中町内会　おせち料理を届ける会		44	21
11	中之町下町内会		28	11
12	須波町内会　須波ボランティア福祉会		65	20
13	須波西町内会「さわやか会」		50	63
14	第９民生区(沼田東地区)		40	10
16	本郷南　木々津沖町内会		10	6
17	大和　上徳良福祉会　上徳良地区民生委員		18	17
合　　計		14 地区	445	236
前年度計		18 地区	502	276

（１０）住民参加型福祉サービス「ほっとはーと」

日常生活に起こり得るちょっとした困りごとの支援を目的に，住民参加型のお互い様活動として，協力者の育成と住民への周知を図った。また，近隣互助の地域福祉活動であることを念頭にした，自立支援につながるコーディネートと専門職との連携強化に取り組んだ。

利用料　　３００円／時間　　１回２時間まで

1. 活動状況

	登録者数(人)	相談件数(件)	利用人数(人)	延べ利用回数(回)	延べ利用(時間)
今 年 度	１４９	１，２２３	１１９	１，０８７	１，４９９
前 年 度 計	１８６	１，２２２	９７	８８８	１，２８１

課　題　　事業説明や状況確認後に依頼が保留となっているケースのその後の情報収集や，長期間利用されている方に対するモニタリングができていないため，確認体制づくりが急務である。また小地域で取り組まれている互助活動や介護保険サービスなどと連携を取りながら，活動を進めていきたい。

2. はーとさん（協力員）の更新

はーとさん（協力員）に協力してもらい，活動可能な曜日や時間などを最新情報に更新し，より効率的にコーディネートできる体制を整えた。高齢化や体調不良などにより活動が難しくなったため登録を辞退される方もいた。今後も定期的に更新を行うとともに，新規活動者の呼びかけも行い，協力員の確保に努める。

3. ほっとはーと通信の発行

ほっとはーとの利用方法や利用者さんの声を掲載し，住民に身近なお互いさま活動として利用促進に努めた。

第１９号　平成２９年　６月１５日発行（１，８００部）

第２０号　平成２９年１０月１５日発行（１，８００部）

第２１号　平成３０年　２月１５日発行（１，８００部）

（１１）近隣互助型生活応援活動推進事業

1. 地域見守り活動の推進

①地域の見守り推進事業

小地域の住民支え合い活動として，町内会・民生委員・高齢者相談センターなど関係団体と連携して実施。指定地域からはボランティアで見守り活動を行う「福祉推進員（見守りサポーター等）」を選任，見守りを希望される方には緊急連絡先を記載した「安心カード」を配布して，日常の見守り活動と災害時等緊急時に活かせる，地域の見守り活動の推進を図る。

○久井町中野地区(平成２０年６月～)
対象者８５人（前年度８１人）　ふれあいサポーター　１７人（前年度１８人）
延べ４，７９１回の見守り活動(前年度５，１１４回)
定例会活動　毎月(第１金曜日)

○久井泉地区（平成２１年５月～）
対象者２９人（前年度２９人）　ふれあいサポーター　１４人（前年度１４人）
延べ３，２１８回の見守り活動（前年度 3,812 回）
定例会活動　年１回

○大和町大草地区（平成２１年　６月～）
対象者７１人（前年度７２人）　見守り隊　３１人（前年度３５人）
延べ　約１，９５５回の見守り活動（前年度約１，７００回）
見守り連絡会議　不定期開催

○大和町椋梨下地区（平成２１年　６月～）
対象者１８人（前年度８人）　ふれあいサポーター　４人（前年度７人）
延べ　約１，０００回の見守り活動　（前年度約４００回）
見守り連絡会議　月１回

○大和町草井地区（平成２１年１１月～）
対象者１３人（前年度１２人）　ふれあいサポーター　８人（前年度７人）
延べ　約７００回の見守り活動（前年度約７００回）
見守り連絡会議　必要に応じて実施

○大和町黒谷地区（平成２３年　１月～）
対象者０人（前年度１人）　ふれあいサポーター　２人（前年度２人）
延べ　約０回の見守り活動　（前年度約２５回）
見守り連絡会議　不定期(地区役員会議時開催)

○西野大西町内会（平成２２年　６月～）
対象者３７人（前年度３７人）　福祉推進員　４人（前年度４人）
見守り推進員連絡会議　　２回開催

○久井町吉田地区（平成２２年１１月～）
対象者　６２人（前年度　６２人）　見守りサポーター　３８人（前年度３７人）
延べ８，１３５回の見守り活動（前年度９，７７３回）
定例会活動　年４回

○大和町椋梨上地区（平成２３年　６月～）
対象者１６人（前年度１８人）　ふれあいサポーター２人（前年度４人）
延べ　約２１５回の見守り活動（前年度約２２３回）
見守り連絡会議　２ケ月１回（奇数月の２０日）

○久井町江木地区（平成２３年７月～）
対象者　２２人（前年度２２人）　見守りサポーター　２１人（前年度２１人）
定例会活動　毎月
活動記録表は地域内で作成

○須波町内会（平成２４年　３月～）
対象者１６人（前年度１７人）　福祉推進員１７人（前年度１７人）
見守り推進員連絡会議　　４回開催

○中之町中町内会第５ブロック（平成２４年７月～）
対象者１６世帯２１人（前年度１６世帯２２人）　福祉推進員１４人（前年度１０人）
見守り推進員連絡会議　　４回開催

○久井町羽倉地区（平成２４年１０月～）
対象者２１人（前年度２６人）　ふれあいサポーター１３人（前年度１３人）
延べ１，３８３回の見守り活動（前年度２，６２１回）

定例会活動　　年４回

○久井町坂井原地区（平成２４年１１月～）

対象者２３人（前年度２３人）　　ふれあいサポーター１５人（前年度１８人）

定例会活動　　随時

活動記録表は使用しない

○大和町大具地区（平成２４年　６月～）

対象者１８人（前年度２２人）　　ふれあいサポーター８人（前年度８人）

延べ　約１，０００回の見守り活動（前年度１，０５０回）

見守り連絡会議　月１回，不定期

○久井町和草地区（平成２５年７月～）

対象者１５人（前年度１４人）　　ふれあいサポーター９人（前年度９人）

延べ２，５８４回の見守り活動（前年度 1,960 回）

定例会活動　年４回

○大和町和木地区（平成２５年１２月～）

対象者２８人（前年度２８人）　　見守り協力員　　４０人（前年度３５人）

延べ　約３４０回の見守り活動（前年度約３４０回）

見守り連絡会議　２回（６月，２月）

○大和町蔵宗地域（平成２６年１２月～）

対象者１０人（前年度７人）　　見守り協力員　８人（前年度８人）

延べ　約１００回の見守り活動（前年度約１００回）

見守り連絡会議　１回（９月）

○大和町上徳良地域（平成２７年７月～）

対象者１１人　（前年度９人）　　見守りサポーター　１５人（前年度１３人）

延べ　約１，０００回の見守り活動（前年度約８００回）

見守り連絡会議　３回（６月，１０月，３月）

○久井町莇原地区（平成２７年８月～）

対象者６人　　ふれあいサポーター　９人（前年度１０人）

延べ４３６回の見守り活動（前年度４１０回）

定例会活動　３回

○久井町下津地区（平成２８年５月～）

対象者９人（前年度１０人）　　ふれあいサポーター　８人（前年度７人）

延べ活動回数１，９８２回

定例会活動　４回

課　題　　**日常の見守り活動から災害時にも活かせる地域の見守り活動として，住民への意識の高揚を図る取り組みが必要である。今年度の地域福祉講演会にて「災害時要援護者と見守り活動」を初めてテーマに設定し，自主防災組織への啓発も実施した。今後も継続して民生委員や高齢者相談センター等関係機関と連携を取りながら，未実施地域の町内会・自治会への積極的な働きかけが必要である。**

日常の気のかけ合いと連絡会議をセットで実施することで，地域の情報を共有，することができ，専門職との連携も密になる。課題整理し，地域に求められている活動も地域と一緒に考えていくことが求められている。

②ふれあい訪問活動（本郷）

７５歳以上一人暮らし及び８０歳以上二人暮らし世帯を対象に，見守りを希望される方に対し，地福祉推進員（訪問ボランティア）が訪問活動を行う。

登録者１３１人（前年度１３０人）　地域福祉推進員４９人（前年度５０人）（平成３０年３月末）

実施回数　１２回　（毎月１５日に訪問）

課　題　　**見守り活動者である地域福祉推進員が輪番制で１～２年ごとに交代される町内会も多いため，年１回は担当の民生委員児童委員と地域福祉推進員とが顔合わせをする機会を持ち，連携できる体制づくりを行っている。また，対象者のうち見守りを希望される方への活動のため，**

民生委員児童委員や地域福祉推進員が気になる方であってもご本人が希望されない場合は活動に結びつかない現状がある。

（１２）地域福祉推進員の活動（本郷地域センター）

地域福祉推進員数　１０８人（各町内会より１人選出）

活動内容　地域の福祉活動のリーダーとして見守り活動。地区社協，市社協事業への協力。

研修会　第１回地域福祉推進員研修会

（本郷地区）日時：平成２９年　５月２０日（土）１１時１５分～１２時００分
会場：三原市本郷福祉センター　研修室１
参加人数：地域福祉推進員２９人，民生委員児童委員８人

（船木地区）日時：平成２９年　４月２２日（土）１４時００分～１５時００分
会場：三原市本郷船木ふれあいセンター　多目的室
参加人数：地域福祉推進員１８人，民生委員児童委員５人

（北方地区）日時：平成２９年　４月２１日（金）２０時１５分～２１時００分
会場：三原市北方コミュニティーセンター　研修室２
参加人数：地域福祉推進員１３人，民生委員児童委員３人

（南方地区）日時：平成２９年　５月１４日（日）１１時００分～１２時００分
会場：三原市南方コミュニティーセンター　第１研修室
参加人数：地域福祉推進員１７人，民生委員児童委員５人

内容：・地域福祉推進員の活動について
・三原市社会福祉協議会本郷福祉センターの活動について
・ふれあい訪問活動について（お願い）
・会費等のお願い
・民生委員児童委員と地域福祉推進員との連携（顔合わせと気になることの共有）

第２回地域福祉推進員研修会（地域づくり勉強会）

日時：平成２９年１０月２０日（金）１３時３０分～１５時３０分
会場：三原市本郷福祉センター　研修室１
参加人数：７６人（うち，地域福祉推進員１１人）
内容：本郷中学校区地域福祉ネットワーク会議設立の経緯と取り組みについて
講演「誰もが安心して暮らせる地域へ」
講師　県立広島大学保健福祉学部人間福祉学科　教授　金子　努　氏

課　題　　町内会の担い手不足等により，町内会長と兼任される町内会が６割を超えている。また輪番制で１～２年ごとに交代される町内会も多く，地域福祉推進員に対する理解を得にくい。

（１３）市民啓発推進事業

1. 広報誌の発行

①機関紙「ええまちみはら」の発行　年４回　（３７，０００部）

・平成２９年　６月１５日（第４９号）　・平成２９年　９月１５日（第５０号）
・平成２９年１２月１５日（第５１号）　・平成３０年　３月１５日（第５２号）

②三原ふくし情報の発行　年８回（ええまちみはら発行のない月）

配布先：社会福祉施設・当事者団体・ボランティア団体・民生委員児童委員　毎号２，０００部

③ホームページの充実

地域の支え合い活動，ボランティア団体等の活動，社協情報誌等を掲載

④地域センター通信の発行

・三原地域センター通信　年１２回
配布先：ふれあい・いきいきサロン／地域子育て支援サロン／民生委員児童委員

2. 第１３回 みはら福祉大会

永年にわたり社会福祉の向上にご尽力いただいた，個人，団体などの表彰と，外部講師を招いての福祉講演会を行った。

平成２９年１０月２９日（日）　１０時００分～１１時４０分
ペアシティ三原西館２階

○三原市社会福祉協議会会長表彰

・地区社会福祉協議会功労者　・・・・・・・・　７人
・ボランティア功労者　・・・・・・・・　４１人

・優秀活動団体　　・・・・・・・・　１団体

〇基調講演　「小地域福祉活動（サロン活動）の取り組みから見えてきたこと」
～地域課題に目を向けた住民活動～

講師　江田島市お茶の間サロン　笑福亭 リーダー 大本哲朗　氏
江田島市社会福祉協議会　地域福祉課　土手悠介　氏

3. 三原市民保健・福祉まつりへの参画

保健福祉まつりや当地のイベントに参画し，パネル展示・体験コーナーを通じ，啓発活動を実施。

①三原地域センター

平成２９年１０月２８日（土）　サン・シープラザ　２階・４階

市内福祉施設, 福祉団体の活動パネル展示, 福祉体験オリエンテーリング, 福祉バザーを開催

②本郷地域センター（ほんごう福祉まつり２０１７）

平成２９年１０月　７日（土）１０時００分～１５時００分

三原市本郷福祉センター

福祉活動パネル展示・ボランティア活動紹介・福祉バザー等（本郷公民館まつりと同日開催）

③久井地域センター（久井！さわやか高原まつり）

平成２９年１０月２９日（日）　９時００分～１５時００分

久井保健福祉センター

久井ボランティア連絡協議会のボランティアグループの活動や福祉体験コーナー・サロン川柳の展示・共同募金コーナーなど

全体で久井中学校ボランティア９８人参加。

④大和地域センター（だいわ元気まつり）

平成２９年１０月１５日（日）　９時００分～１６時００分　大和支所周辺

大和ボランティア連絡協議会：遊休品バザー

第１１民生区(大和地区)：民生児童委員活動ＰＲ，共同募金街頭募金

大和地区共同募金委員会：共同募金街頭募金

デイサービスセンター大和：福祉バザー

２．福祉ボランティアの町づくりに関すること

（１）社会参加・コミュニケーション支援（派遣）事業に関すること

①手話通訳者派遣事業

登録通訳者：　１２人　　派遣事前登録者：３５人

派遣利用者：　１８人　　９団体

派遣延べ回数：１３５回　　（前年度　１５１回）

派遣延べ時間：２５３時間　（前年度　２７６時間）

（※派遣事業以外のコミュニケーション支援）

派遣団体：１団体　派遣回数：１９回　派遣通訳者(延べ)：２４人　派遣時間(延べ)：３２時間

②広島県手話通訳者派遣ネットワーク事業

派遣回数：０回　派遣通訳者　０人　派遣時間：０時間

③要約筆記者派遣事業

要約筆記者：１５人　　派遣延べ回数：２６回　（前年度　３９回）

派遣延べ時間：５６時間　（前年度　１１８時間）

（２）手話通訳者配置事業

聴覚障害者及び音声・言語機能障害者が社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行うため「手話通訳者」を配置し，日常生活の相談・支援並びにコーディネートによる意志伝達を確保することを目的とする。

毎週木曜日，金曜日　　三原市社会福祉協議会本所に配置

手話通訳者需給調整の内訳

	件　数	方　法	内　　容

相　談	１７９	窓口対応	生活(１０１件)，労働(１５件)，医療(８件)，文化（２件），教育（３件），住宅（３件），福祉(４６件)，人権（０件），人間関係（１件）
	４８４	FAX・メール	生活(１０４件)，労働(７０件)，医療(７６件)，文化（１４件），教育（７１件），住宅（５件），福祉(１４４件)，人権（０件），人間関係（０件）
合計	663 件	前年度計	852 件

（３）活動基盤づくり，その他の事業

①各ボランティア団体や地域のサロン団体の活動を表にして送付（４３０団体）

他団体の活動状況を参考に，自団体把握し調整する。

提出依頼先：福祉団体，ボランティアグループ，いきいきサロン，社会福祉施設，医療施設等

送付配布先：上記記載団体，地区社協，行政，民生委員，新聞社等

②ボランティア保険加入等状況

加入者数　４，３４０人（前年度　４，３２１人）　事故件数　８件（前年度　８件）

③ボランティア行事用保険加入等状況

加入件数　６３件（前年度　６１件）　掛金人数　６，５７２人（前年度　６，５３２人）

事故件数　０件（前年度　１件）

④サロン保険加入状況

加入件数　１４６団体（前年度　１２８団体）

延べ加入人数　３８，６５２人（前年度２２，１８６人）

事故件数　１件（前年度　２件）

３．福祉教育に関すること

（１）社会福祉推進協力校

指定校：三原市内の全市立小中学校３０校　三原市立本郷幼稚園　三原市立本郷保育所　ひまわり保育所　愛育認定こども園　合計３４校（１幼稚園１子ども園２保育所）多くの学校では，地域の住民との協働事業として花の栽培や通学路の整備など環境美化活動や，地域高齢者との交流会，近隣の社会福祉施設訪問等を実施している。

（２）三原市内社会福祉施設「体験学習」活動の推進

（単位：人・日）

学習施設名	参加者数	延べ日数	学習施設名	参加者数	延べ日数
特）梅菅園	3	3	通）社協大和デイサービス	4	4
特）すなみ荘	2	2	通）亀甲園デイサービス	1	1
特）慶雲寮	2	4	小）地域福祉センター宮浦西	1	1
老）三恵苑	4	7	障）わくわく工房	1	2
老）里仁苑	１２	２４	障）創造	1	5
			合　計	３１人	５３日
			前年度計	２４人	６７日

※　（特）…特別養護老人ホーム　（老）…老人保健施設

（小）…小規模多機能型居宅介護事業所（障）…障がい者福祉施設・作業所

（通）…通所介護

参加者内訳：中学生４人　高校生２７人

（３）福祉学習への実施調整

内　容　車いす，点字，手話，ガイドヘルプなどの福祉体験学習の調整を実施。

朗読録音ボランティア声の友，ヤングボランティアいなほ，点字ボランティアてんゆう会，手話サークルうきしろ，三原ろうあ協会，なかまボランティア，久井ボランティア連絡協議会，広島

県介護福祉士会の協力を得て，６校で実施。
実施校　本郷中学校１年生（車いす・点字・手話・ガイドヘルプ・障害当事者による講演）
久井中学校１年生（車いす・点字・手話・ガイド・ヘルプ）
広島大学附属三原中学校３年（高齢者疑似体験）
幸崎小学校４年生（点字・手話）・田野浦小学校４年生（点字・手話・ガイドヘルプ）
中之町小学校４年生（点字・手話）・久井小学校４年生（車いす・ガイドヘルプ・疑似体験，バリアフリー学習会，デイサービス訪問）
本郷西小学校４年生（手話）
中学校　３校　小学校　５校

（４）社会福祉士養成専門学校等の実習生の受け入れ
① 社会福祉協議会（事務局）
実習生　５人　（延べ日数　８６日）

４．高齢者福祉に関すること

（１）ひとり暮らし高齢者交流事業（大和）
一人暮らし高齢者同士の交流を通し，仲間づくりや支え合いの輪を広げ，住み慣れた地域で楽しく安心して過ごしていただくことを目的とし各地域で開催した。

① だいわ一人暮らしふれあい交流会

甚梨地域　日　時：平成２９年１１月　８日（水）１１時００分～１４時００分
会　場：甚梨公民館
内　容：健康体操及び情報提供　高齢者相談センターはーもにー
「音楽療法」　三原市第３民生委員児童委員　菜原　須磨子　氏
民生委員・ボランティアによる大和カルタ紹介・大事な人だから（歌・踊り）
参加者：４８人（民生委員，ボランティア含む）

神田地域　日　時：平成２９年１１月　９日（木）１０時３０分～１３時３０分
会　場：神田公民館
内　容：情報提供・簡単な体操　高齢者相談センターはーもにー
民生委員・ボランティアによる大和カルタ，大正琴，踊り，カラオケ
参加者：７４人（民生委員，ボランティア含む）

大草地域　日　時：平成２９年１１月１７日（金）１１時００分～１４時００分
会　場：大草公民館
内　容：情報提供及び健康体操　高齢者相談センターはーもにー
民生委員・ボランティアによるこまづくり，大和カルタ紹介，クイズ，歌，いきいき体操
参加者：４５人（民生委員，ボランティア含む）

和木地域　日　時：平成２９年　１１月１６日（木）１１時００分～１４時００分
会　場：和木地域ふれあい交流センター
内　容：「健康寿命を延ばそう！」　大和保健福祉センター　保健師　児玉三和子　氏
健康チェック，困りごと相談，情報交換
参加者：２０人（民生委員，ボランティア含む）

（２）認知症高齢者に関すること

①認知症高齢者家族やすらぎ支援事業
在宅認知症高齢者を介護している世帯等へ「やすらぎ支援員」を派遣し，認知症高齢者を介護している家族の支援として，見守りや話し相手の支援を行う。
利用状況

	今年度実績	前年度実績
利用者実人数	２４人	２４人
新規利用申請者数	１４人	９人
支援員派遣回数	７３６回	５６７回
派遣時間数	７７５時間	６３４時間

支援員状況等

	今年度実績(人)	前年度実績(人)
支援員登録者数	５８	８８
新規登録支援員数	１１	１６
活動実人数	３４	３０

②研修会の状況

○やすらぎ支援員養成講座

開催日　平成２９年　７月２６日(水)・　８月２日(水)
場　所　三原市市民福祉会館　５階　大会議室
講　師　認知症の人と家族の会会員,
県立広島大学保健福祉学部　作業療法学科　准教授　西田　征治　氏
受講者数　４１人　修了者数：１６人　新規登録者数：１１人

○やすらぎ支援員登録者研修会

開催日　平成２９年 ８月２日(水)
場　所　三原市市民福祉会館　５階　大会議室
内　容　傾聴について
講　師　梅菅園グループホーム　管理者　鳥越　小百合　氏

（3）家族介護者交流事業

介護保険要介護１以上の人を在宅で介護している家族のリフレッシュと介護者同士の情報交換を目的に実施する。

実施地域	日時	会場	参加人数	内容
全　域	平成 29 年 8 月 23 日	白竜湖 リゾート	28 人 (前年度 34 人)	講演：「お口とこころの健康講座」 講師：歯科衛生士　村田　充子　氏 交流・入浴・個別相談・会食・自由時間
全　域	平成 30 年 2 月 23 日	かんぽの宿 竹原	27 人 (前年度 42 人)	講演：「音楽療法」 講師：三原音楽療法研究会　吉岡　由美子氏 入浴・個別相談・会食・自由時間

(4)男性一人ぐらし高齢者料理教室

６５歳以上の男性一人暮らし高齢者の自立した生活と生きがいづくり及び仲間づくり及び在宅で介護している男性を対象に，調理技術の向上と交流を深めることを目的に開催。

登録者数　２７人
実施回数　１２回（毎月１回）
延べ参加者　１３６人（平均：１１人）
食生活改善推進員（調理指導）　４人

(5)在宅福祉生活支援サービス「いきいきみはら」

日常生活を営むのに支障がある者及びその家族に対し，各種支援活動を進めることによって，これらの人達が住み慣れた地域・家庭で安心して暮らせる福祉の町づくりの一環として在宅者の福祉の向上を図ることを目的とする。

利用料　家事支援サービス　７５０円／時間　介護支援サービス　９５０円／時間
利用者登録料　１，０００円／登録時

従事者　ヘルパー３級以上の有資格者

	利用登録者数	新規登録者数	会員登録者(実働者)	活動状況
今年度	５人	０人	７人 （５人）	家事支援２４５時間（２２０回）　月平均２０．４時間 身体介護　０時間（０回）　月平均　０時間
前年度計	６人	０人	７人 （６人）	家事支援３３０時間（２７８回）　月平均２７．５時間 身体介護　０時間（０回）　月平均　０時間

（6）高齢者相談窓口「だいわ」の運営　(受託　平成２１年　４月　１日～)

相談件数　(単位：件)

相談内容	介護保険	介護予防	虐待	権利擁護	健康	認知介護相談	その他	合　計
今年度	１６	０	０	０	０	３	１	２０
前年度計	２８	４	０	０	０	２	４	３８

介護予防教室の実施

○日　時　　平成２９年１０月２５日（水）１３時３０分～１６時００分
会　場　　篠コミュニティーホーム
団　体　　篠地区社協
内　容　「防犯・詐欺の話等」　下徳良駐在所　原田浩司　氏
情報提供　高齢者相談センターはーもにー
「お口の体操と元気を維持する食事について」
保健師　児玉三和子　氏・　栄養士　田原　秀子　氏
参加者　　９人

５．障害者（児）福祉に関すること

（１）三原市福祉のまちづくり推進協議会に関すること
・三原市防災ネットワーク会議への参画
・みはら福祉展，共同募金運動，障害者スポーツフェスティバル等各種福祉事業への協力

（２）精神障害者社会参加促進（大和）
・精神障害者サロン（あいあいサロン）の開催
開催回数　年５回
内　　容　映画鑑賞，釣り堀での釣り体験，りんご狩り，クリスマス会，牡蠣小屋での体験等を通し，ボランティアとのふれあい活動や集団活動，社会体験活動を行い自立に向けた取り組みをを行う。
参 加 者　延べ２７人（登録者　当事者６人，精神保健福祉ボランティア６人）

６．共同募金・地域歳末たすけあい募金運動

（１）実績一覧表　（単位：円）

地　区　名	三　原	本　郷	久　井	大　和	合　計
一 般 募 金	7,612,203	1,932,282	869,493	1,482,709	11,896,687
地域歳末募金	1,250,115	－	－	－	1,250,115
合　　計	8,862,318	1,932,282	869,493	1,482,709	13,146,802
前 年 度 計	9,053,509	1,900,107	966,285	1,486,922	13,406,823

（２）助成状況（平成３０年度事業実施分）　（単位：円）

区　　分	高齢者福祉活動費	障がい児者福祉活動費	児童青少年福祉活動費	住民全般福祉活動費	合　計
助 成 金 額	1,795,824	570,000	2,347,000	2,702,978	7,415,802
前 年 度 計	1,926,320	583,000	2,284,246	3,025,787	7,819,353

７．日本赤十字社事業

（１）会費（募金）実績の状況　（単位：円）

区　　分	目　標　額	一般会費	法人会費	合計	達　成　率
会費（募金）	12,084,000	9,634,392	18,000	9,652,392	80 ％
前 年 度 計	12,084,000	9,749,820	24,000	9,773,820	81 ％

（２）関係事業
・災害救援物資等交付　　２世帯　２人

８．心配ごと相談事業

（１）相談所設置状況

①三原地域センター（１３時００分～１６時００分）

・定例相談　　毎月第１～４金曜日
・不動産相談　　毎月第１・３金曜日（１０時００分～１５時００分）
・戦没者・遺族相談　毎月第１・３木曜日
・教育・療育相談　　毎月第１・４月曜日
・行政相談　　毎月第３月曜日
・成年後見相談　　毎月第２木曜日　（障害者生活支援センター担当）

②本郷地域センター（１３時００分～１６時００分）

・定例相談　　毎月第２・４水曜日

③久井地域センター（９時００分～１２時００分）

・定例相談　　毎月第１・３水曜日

④大和地域センター（９時００分～１２時００分）

・定例相談　　毎月第１・第３金曜日

（２）相談状況

① 開催延べ回数　１９６回
② 出席延べ相談員数　３３２人（民生委員　１４９人　民生委員以外　１８３人）
③ 相談件数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
相談事項	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	健康・保健・衛生	医療	人権・法律	財産	事故	児童・母子	教育・青少年	障害福祉	母子・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	計合
件数	18	10	1	5	11	5	3	2	5	60	2	0	1	5	0	0	25	61	214
辭解計	9	19	0	10	16	2	9	3	3	61	0	0	0	1	1	7	28	71	240

（３）心配ごと相談員研修会

日　時　平成３０年　２月７日（水）１０時００分～１１時３０分
会　場　三原市市民福祉会館　大会議室
内　容　「生活困窮者自立支援事業について」
講　師　広島県社会福祉協議会　地域福祉課　主任　伊藤　竜也　氏
　　自立相談支援センターみはら　野上　晃　氏
参加者　　５３人

（４）心配ごと相談所　運営委員会

第１回

日　時　平成２９年１２月１１日（月）１３時３０分～１５時００分
会　場　サン・シープラザ　第５会議室
内　容　委員長・副委員長の互選
　　相談員の委嘱
　　平成２９年度心配ごと相談事業中間報告
　　平成２９年度心配ごと相談所全体研修会

第２回

日　時　平成３０年　３月　７日（水）１０時００分～１１時３０分
会　場　サン・シープラザ　第３会議室
内　容　平成２９年度心配ごと相談事業報告
　　平成３０年度心配ごと相談事業計画

９．ボランティア・市民活動サポートセンターに関すること

（1）ボランティアセンター受付状況　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
電話対応	174	195	204	179	213	154	165	129	173	126	125	174	2,011
来所対応	123	119	133	96	115	79	89	89	76	79	93	136	1,227
文書･メール	111	159	137	99	91	113	107	112	97	127	128	118	1,399
合　　計	408	473	474	374	419	346	361	330	346	332	346	428	4,637
前年度計	490	483	523	531	525	448	453	410	318	388	457	520	5,546

（2）需給調整状況　（単位：人）

支援内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
新規依頼件数	11	12	13	18	17	18	18	15	19	9	10	12	172
新規依頼調整数	10	12	12	17	15	18	17	14	18	8	9	12	162
新規依頼派遣数	37	24	21	31	32	67	91	30	58	28	56	56	531
継続派遣人数	24	24	23	24	29	25	21	23	17	19	20	24	273
派遣人数合計	61	48	44	55	61	92	112	53	75	47	76	80	804
前年度計	45	64	58	84	27	91	100	53	90	42	87	62	803

（3）支援内容別登録状況

支　援　内　容	団体数	人数
技術支援ボランティア	15	280
施設支援ボランティア	25	320
当事者支援ボランティア	11	209
子育て支援ボランティア	8	118
総合支援ボランティア	13	1,197
環境支援ボランティア	2	186
国際交流支援ボランティア	1	10
地域支援ボランティア	9	285
まちづくり支援ボランティア	4	54
ＮＰＯ法人	10	－
個人登録ボランティア		75
合　　計	98	2,734
前　年　度　計	100	2,737

（4）講習会等開催状況

①手話奉仕員養成講座（昼間部）

日　時　　平成２９年　４月　５日(水)～平成３０年　１月３１日(水)　全４０回
　　１３時３０分～１５時００分

会　場　　サン・シープラザ

講　師　　広島県手話指導講師登録者

受講者　　８人（修了者７人）

②手話奉仕員養成講座（夜間部）

日　時　　平成２９年　４月　７日(金)～１０月１３日(金)　全４０回中２６回まで開催したが，受講者が０人になったため，講座を中止した。
　　１９時００分～２０時３０分

会　場　　サン・シープラザ

講　師　　広島県手話指導講師登録者
受講者　　４人（修了者０人）

③三原市災害ボランティアフォローアップ講座
日　時　　平成２９年　４月　９日(日)　９時３０分～１２時００分
会　場　　三原市市民福祉会館
内　容　　案内情報の報告，避難所運営ゲーム「ＨＵＧ」，要援護者トリアージ動画視聴
講　師　　三原市防災士ネットワーク　竹原茂氏
参加者　　１３人（スタッフ２人含む）

④点訳ボランティア養成講座
日　時　　平成２９年　５月２０日(土)～１０月１４日(土)　全２０回
　　１３時３０分～１５時３０分
会　場　　サン・シープラザ
講　師　　点字ボランティア　てんゆう会
受講者　　６人（修了者２人）

⑤ＮＰＯ交流会（三原市ボランティア・市民活動サポートセンター運営委員会　専門部会）
日　時　　平成２９年　５月２１日(日)　１３時００分～１４時３０分
会　場　　サン・シープラザ
内　容　　三原市に主たる事務所をおくＮＰＯ法人の交流
参加者　　１２人（スタッフ６人含む）
課　題　　初めての開催で，参加者が少ないながらも情報交換をすることができた。まだ多くの法人があり，今後も継続していくことが必要。

⑥三原市被災者生活サポートボラネット　職員研修
日　時　　平成２９年　６月１７日（土）　１４時００分～１６時００分
会　場　　サン・シープラザ
内　容　　災害時における社会福祉協議会の役割について
講　師　　ＮＰＯ法人さくらネット　石井布紀子氏

⑦朗読ボランティア養成講座
日　時　　平成２９年7月７日(金)～平成３０年2月２日(金)　全１５回
　　１８時００分～２０時００分
会　場　　サン・シープラザ
講　師　　朗読録音ボランティア「声の友」
受講者　　３人（修了者１人）
課　題　　講座を夜間の開催にすると，修了後の活動時間も夜間の活動に偏りがでてくる。日中の講座開催を検討する。

⑧三原市ボランティア・市民活動サポートセンター運営委員会
日　時　　①平成２９年7月２５日(火)　②平成３０年3月１９日(月)
　　１０時００分～１２時００分
会　場　　サン・シープラザ
内　容　　センターの事業報告および計画をもとに，意見交換など
参加者　　延べ２５人

⑨人にやさしい祭り委員会（やっさ祭り）
日　時　　平成２９年　８月１１日(金)・１２日(土)・１３日(日)のやっさ祭り
会　場　　やっさ祭り
参加者　　１３８人（他スタッフ３０人）

⑩中学・高校生ボランティア活動きっかけ講座
日　時　　平成２９年8月２２日（火）１０時３０分～１２時００分

会　場　　サン・シープラザ
内　容　　他国での活動，地域での活動を行った方のこれまでの経験や想いを聞き，自分にできることを考える
講　師　　大和地域支援員　唐井ゆかり氏（ＪＩＣＡ・大和地域おこし協力隊の経験）
受講者　　１０人
課　題　　今後の活動紹介だけで終わらず，活動につながるような声掛けを検討する必要がある。

⑪要約筆記奉仕員養成講座
日　時　　平成２９年１０月１４日(土)～平成３０年3月１０日(土)
全１０回　１３時００分～１６時００分
会　場　　サン・シープラザ
講　師　　要約筆記サークルひよこ
受講者　　７人（修了者６人）

⑫三原市ボランティア祭り in 三原（三原市民保健・福祉まつりと同時開催）
日　時　　平成２９年１０月２８日(土)　　９時３０分～１６時００分
会　場　　サン・シープラザ
内　容　　福祉体験（手話・ガイドヘルプ・車いす・点字・朗読）・子どもコーナー（布絵本展示・バルーンアート）・活動紹介
参加者　　延べ１９６人（スタッフ含む）
課　題　　体験を通して活動の啓発や交流を図っているが，役割にかかる時間が多く交流が難しい。より多くの方の参加と交流できる形式を検討する。

⑬きっかけ講座「やる気スイッチを押すなら今！～発見・挑戦・充実を体験～」
日　時　　平成２９年１２月１３日（水）・２０日（水）１０時００分～１２時００分
会　場　　本郷生涯学習センター
内　容　　自分の生活を振り返り，満足につながる９つの経験から，自分の活動を充実させる方法を考える
講　師　　県立広島大学作業療法学科　講師　高木雅之氏
受講者　　延べ４５人（スタッフ２人含む）

⑭手話奉仕員養成講座スキルアップ講座
日　時　　平成３０年1月１３日(土)～2月１０日(土)　全5回　１０時００分～１２時００分
会　場　　サン・シープラザ
講　師　　広島県手話指導講師登録者
受講者　　４人（修了者４人）

⑮朗読ボランティアスキルアップ講座
日　時　　平成３０年　1月１６日(火)　１３時００分～１６時００分
会　場　　サン・シープラザ
講　師　　ＮＨＫ放送研修センター日本語センター　部長　合田敏行氏
受講者　　３９人

⑯三原市災害ボランティア養成講座
日　時　　平成３０年　2月　３日(土)　１０時００分～１２時００分
会　場　　ペアシティ西館　２階　大会議室
内　容　　災害時のボランティア活動と支援の視点，災害時にも活きる日ごろの取り組み
講　師　　日野ボランティア・ネットワーク　山下弘彦氏
参加者　　３１人（スタッフ含む）

⑰まちづくり講習会
日　時　　平成２３年　3月１８日(日)　9時３０分～１２時００分
会　場　　サン・シープラザ

内　容　　今ある活動を活かす，みんなのまちづくりをテーマに想いを語る
講　師　　ローカリズム・ラボ　井岡仁志氏
参加者　　４５人

１０．生活支援資金貸付事業に関すること

（1）生活福祉資金貸付事業

低所得者，障害者または高齢者に対して，資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより，その経済的自立及び生活意欲の助長促進ならびに在宅福祉及び社会参加の促進を図り，安定した生活を送れるようにすることを目的とする。

○相談・貸付状況

資 金 種 類	相談件数	申　　込		貸付決定	
		件数	金額　(円)	件数	金額　(円)
総合支援資金（生活支援費）	10	0	0	0	0
総合支援資金（住宅入居費）		0	0	0	0
総合支援資金（一時生活再建費）		0	0	0	0
教育支援資金（教育支援費）	6	0	0	0	0
教育支援資金（就学支度費）		0	0	0	0
福祉資金（福祉費）	26	0	0	0	0
福祉資金（緊急小口資金）	34	2	95,000	2	95,000
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0
合　　計	76	2	95,000	2	95,000
前年度計	83	3	353,000	3	353,000

（2）緊急つなぎ資金貸付状況

生活保護申請受理者に対し，緊急に必要とする資金を貸付，生活の安定に資することを目的とする。

単身世帯：１５，０００円以内　　複数世帯：３０，０００円以内

○貸付状況

	貸付件数	貸付金額(円)		貸付件数	貸付金額(円)
4 月	2	30,000	11 月	4	90,000
5 月	5	90,000	12 月	6	85,000
6 月	6	100,000	1 月	7	100,000
7 月	2	30,000	2 月	3	45,000
8 月	3	60,000	3 月	3	60,000
9 月	5	100,000	合　　計	48	820,000
10 月	2	30,000	前年度計	35	656,000

単身世帯：　４０世帯　　複数世帯：　８世帯

１１．権利擁護事業に関すること

（1）福祉サービス利用援助事業（かけはし）

判断能力に不安のある方の福祉サービス利用時の手伝い，日常的な金銭管理を行います。

○利用料　１，５００円　１回あたり２時間程度

○通帳等預かりサービス料　１，５００円／１ヶ月

①利用状況

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計	生活保護世帯	前年度合計
相談状況	1,489	806	3,209	4	5,508	―	5,771
契約締結件数	6	3	7	0	16	8	16
契約終了件数	4	1	0	0	5	1	11
契約実利用人数	23	13	34	0	70	34	59

②その他の活動状況

・関係機関運営連絡会議　１７回
・「かけはし」基礎研修　１回
・かけはし専門員連絡会議　１回
・成年後見制度推進団体連絡会議　１回
・権利擁護をすすめる相談援助技術向上研修　１回
・「かけはし」生活支援員養成研修　２回
・ケースカンファレンス　７６回
・かけはし専門員スキルアップ勉強会　２回
・日常生活自立支援事業　専門員実践力強化研修会Ⅱ　１回

課　題　　契約者の抱える問題が複雑化・重層化しており，一人の利用者に対して複数の関係機関が支援にあたっている。関係機関との連携が必要不可欠となっている。

契約者数は前年度と比較して＋１１件増加した。契約者数の増大により担当者の負担も増大している。また，新規のケースでは相談を受ける時点から問題が複雑化・重層化しているケースが多く，初回相談から契約に至るまで相当数の時間を要している。

（2）成年後見事業（法人後見）

判断能力が十分でない人に対して，本会が法人後見人(成年後見人・保佐人・補助人)になり，被後見人等が安心して日常生活を送ることができるよう家庭裁判所の審判に基づく代理権・同意権(身上監護・財産管理)を執行することにより保護並びに支援をします。

・法人後見開始　：　平成２０年１２月１５日

①受任状況

・平成２９年度受任件数：　９件（平成２９年度新規：１件）

・平成２９年度終了件数：　３件（死去のため）

・受任類型　：　成年後見…６件　保佐…２件　補助…１件

②受任内訳

対象者	類型	受任(終了)年月日	行為種類	連絡調整（単位：回）			走行距離数（単位：km）
				訪問	電話	会議	
高齢者	保佐	23.3.1～～29.12.5	代理行為(財産管理・身上監護)	７	１８	２	１３２
高齢者	後見	23. 5.17～	包括行為(財産管理・身上監護)	１７	５	０	１６５．４
高齢者	後見	23. 7.15～	包括行為(財産管理・身上監護)	３０	７	０	２５６
高齢者	後見	24.5.31～～29.4.10	包括行為(財産管理・身上監護)	１	２	０	２３
高齢者	補助	24.10.31～	支援行為(財産管理・身上監護)	３	１８	０	４．８
高齢者	後見	25. 2.13～	包括行為(財産管理・身上監護)	５２	２５	２	１９６．２

高齢者	後見	25. 8.23～	包括行為(財産管理・身上監護)	２８	６９	１	９６
高齢者	保佐	26.10. 3～	代理行為(財産管理・身上監護)	１１	１２	０	１９２
高齢者	後見	27. 5. 8 ～	包括行為(財産管理・身上監護)	２０	３	０	２６４
高齢者	後見	27. 5. 9 ～	包括行為(財産管理・身上監護)	９	９	０	２０７
高齢者	後見	28.4.29～ ～29.10.29	包括行為(財産管理・身上監護)	１	８	２	０
高齢者	保佐	30.1.10～	包括行為(財産管理・身上監護)	１	２	１	８
			合　　計	180	178	8	１５４４．４
			前年度計	222	302	8	２０１７．２

※管轄裁判所　：　広島家庭裁判所本庁，尾道支部

※各対象者が関わっている，高齢者相談センター・居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・訪問看護事業所・介護老人福祉施設・介護療養型医療施設・医療施設(病院)・小規模多機能型居宅介護事業所等と日常的に連絡調整を行う。

課　題　現在の体制では，これ以上の受任増の対応が困難なため，今後のことを見据えた体制づくりが必要である。

今後，後見人等の受任者不足が予想される中で，その担い手として社協の法人後見にも期待が寄せられており，社協としてもある程度の件数を受任できる体制を整えておく事が必要と思われる。

社協が受任するケースとして，身寄りがない，或いは身寄りがないに等しい利用者が増えてくることが想定されるため，医療同意や死去後の対応等，後見人等では与えられていない権限に対する対応をどのようにすべきかの検討も必要である。更に死去後の対応までも担わなければならないケースが殆どである為，活動が終了した後も全ての整理が付くまで抱え続けなければならない状況となっている。死去後の整理をどの様に付けていくのか課題となっている。

１２．生活困窮者自立支援事業（自立相談支援センターみはら）に関すること

（1）自立相談支援事業

経済的・精神的な問題，家庭での悩みや健康上の問題など，生活に困り事や不安を抱えている方の相談を受け，アセスメント（課題の分析）を行い，個々に応じた支援を行う。必要に応じて対応が可能な他機関の紹介等，必要なサービスの提供につなげ自立を支援していく。

①相談状況

	新規件数	延べ件数		新規件数	延べ件数
4 月	19	71	11 月	32	90
5 月	26	91	12 月	24	88
6 月	22	101	1 月	21	76
7 月	26	86	2 月	20	46

8月	28	89	3月	32	90
9月	35	89	合　　計	304	997
10月	19	80	前年度計	233	970

（2）住居確保給付金事業

離職などにより住居を失った方，または失うおそれのある方に，就職に向けた活動をすることなどを条件に，一定期間，家賃相当額を支給する（支給の決定は三原市が行う）。状況によっては生活福祉資金（総合支援資金等）貸付等も含め，安心して就労活動を行える環境を作り，早期の就労開始を図る。

①相談・申込状況

	相談件数	申込件数		相談件数	申込件数
4月	0	0	11月	1	0
5月	1	0	12月	0	0
6月	1	0	1月	0	0
7月	0	0	2月	0	0
8月	1	0	3月	0	0
9月	1	0	合　　計	5	0
10月	0	0	前年度計	2	0

課　題　　関係機関からの紹介や広報等をみての相談が多い状況には変わりがない。また，ネットで情報を得てからの相談が増えてきている。今後も広報媒体等を考慮しながらの周知活動を継続して進めていきたい。

相談内容も多岐に渡ってきており，対応方法に苦慮することが多い。収入等の問題だけでなく，障害者（疑い含む），高齢者等の就労，家族関係に起因する問題，出所者，引きこもりやホームレス状態の人への対応など出口に繋がる支援が現状では限られている状況も引き続きみられている。関係機関との連携強化や地域等に働きかけての資源開発，また行政に対して任意事業等検討の働きかけを引き続き行っていく。

（3）緊急食料等支援事業（フードバンク）

緊急一時的な理由で食事が満足に取れなくなった世帯や，未利用であった制度等を利用することで生活の立て直しが見込める世帯に対して，一時的に食料等を提供し，自立に向けて支援する。

①支援状況

	利用人数	利用日数	提供食料数		利用人数	利用日数	提供食料数
4月				11月	4	14	40
5月				12月	4	26	78
6月				1月	3	26	75
7月				2月	1	14	40
8月				3月	0	0	0
9月	1	1	1	合計	15	87	250
10月	2	6	16	前年度計			

課題

利用理由としては，次の年金や給与までのつなぎが最も多いが，生活保護受給中の人からの相談も目立っている。何処までを止む得ない理由として考えるのか，線引に悩むことが多い。しかしながら，この事業を通して生活改善への道筋がついた相談もあり，関係機関と連携をしながら適切な運用をしていきたい。

１３．障害者生活支援事業（ドリームキャッチャー）

（1）相談支援事業

①目的

障害者総合支援法及び児童福祉法による指定相談支援，また三原市委託相談支援事業者として，幅の広い専門的な相談支援を実施する。

②事業概要

・基本相談支援（巡回相談，領域別相談含む）
・一般相談支援（地域移行支援・地域定着支援を含む）
・特定相談支援（計画相談支援）
・障害児相談支援
・生活アシスタント事業
・障害者住宅入居等支援事業（居住サポート事業）
・障害者虐待連携相談事業
・地域ネットワーク事業（地域自立支援協議会事務局他）
・休業日　　祝日，年末年始
・対応時間　９：００～１７：３０（但し，時間外は電話等で対応）
・職員体制　管理者１人（常勤兼務），相談支援専門員４人（常勤専任２人，常勤兼務２人）

③利用状況

○相談者数(障害別・年齢別の実人数)

区　分	実数	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他
18 才未満	30	13	0	3	1	0	1	0	13
18～64 歳	331	65	7	119	66	65	6	15	63
65 歳以上	191	18	8	48	9	138	0	1	3
合　計	552	96	15	170	76	203	7	16	79
前年度計	636	116	16	197	97	223	21	12	73

○相談方法

対　応　方　法	件数	夜間・休日対応
訪　問　面　談	292	18
来　所　面　談	673	17
同　行　支　援	124	3
電　話　対　応	1,161	60
メール・FAX 対応	153	33
個別支援会議	147	7
関係機関連携	1356	25
そ　の　他	10	0
合　計	3,916	163
前年度計	4,076	246

◎困難事例への対応

＊高校卒業見込み生徒のライフステージ移行支援
＊他機関からの困難事例支援
＊教育・医療関係支援

○相談内容別件数(複数カウント可)

対　応　内　容	相談件数
制度〈サービス等〉利用に関する支援	2,427
障害や病状の理解に関する支援	449
健康・医療に関する支援	721
不安の解消・情緒安定に関する支援	658
保育・教育に関する支援	347
家族関係・人間関係に関する支援	847
家計・経済に関する支援	296
生活技術に関する支援	411
就労に関する支援	314
社会参加・余暇活動に関する支援	345
権利擁護に関する支援	48
障害者差別	8
その他	39
合　計	6,910
前年度計	6,721

○巡回相談(障害者なんでも相談)

実施会場	相談件数	前年度
三原市本郷福祉センター	0	14
三原市久井保健福祉センター	0	3
三原市大和保健福祉センター	3	10
合　計	3	14

○領域別相談

種　別	相談員	件　数	前年度
成年後見相談	司法書士	2	7

○三原市地域自立支援協議会

区分		開催回数
全体会議		1
定例会議		11
相談支援会議		11
運営会議		12
専門部会	就労支援	7
	障害者プラン	11
	権利擁護	5
	児童支援	7
合計		65

＊障害者事業所ガイダンス　１０月２３日　～３１日（２８日のみ自主製品販売）

＊障害者週間啓発事業　　１２月　３日　～１１日

○障害者虐待連携相談事業（４月～３月）

対　応　方　法	件　数
訪　問　対　応	0
来　所　相　談	0
同　行　支　援	0
電　話　相　談	0
虐待疑い相談ケース検討会議	0
コア会議(行政・委託相談支援事業所)	12

連　絡　調　整	0
合　　計	0

○障害者住宅入居等支援事業(居住サポート事業)利用者　１人

内　容	詳　細	件数	前年度
住宅確保支援会議	利用事例の報告，住宅入居等支援事業要綱の検討等	12	12
コーディネート	面接(0)，同行(3)，訪問(6)連絡調整(7)	16	19

○障害者生活アシスタント事業利用者　１名，協力員　１人

内　容	詳　細	件数	前年度
生活協力員派遣	相談，買い物，手続き等の同行支援	0	6
	面接(0)，同行(0)，訪問(13)連絡調整(40)	18	12

○啓発活動及びネットワーク推進に関する事業

分　　類	回数	内容
地域連携等会議	89	自立支援協議会運営会議(1)，自立支援協議会(1)，児童支援部会/放課後等デイサービス(1)，児童支援部会/児童発達支援事業所(1)，住居確保支援会議(1)，広島県障害者相談支援事業連絡協議会総会(1)，障害者プラン策定部会(1)，　自立支援協議会運営会議(1)，自立支援協議会全体会(1)，　児童支援部会(1)，住居確保支援会議(1)，広島県障害者相談支援事業連絡協議会/計画(1)，障害者プラン策定部会(1)，まちづくり推進協(1)，圏域就労支援ネットワーク会議(1)，　自立支援協議会運営会議(1)，自立支援協議会(1)，就労支援部会(1)，住居確保支援会議(1)，障害者プラン策定部会(1)，広島県障害者相談支援事業連絡協議会/委託(1)，自立支援協議会運営会議(1)，自立支援協議会(1)，児童支援部会/ワーキング(1)，住居確保支援会議(1)，権利擁護部会(1)，障害者プラン策定部会(1)，広島県障害者相談支援事業連絡協議会/ピアサロン交流会打ち合わせ(1)，　自立支援協議会運営会議(1)，自立支援協議会(1)，障害者プラン策定部会(1)，就労支援部会(1)，住居確保支援会議(1)，広島県障害者相談支援事業連絡協議会/委託(1)，広島県障害者相談支援事業連絡協議会/ピアサロン交流会打ち合わせ(1)，　自立支援協議会運営会議(1)，自立支援協議会(1)，権利擁護部会(1)，住居確保支援会議(1)，障害者プラン策定部会(1)，広島県障害者相談支援事業連絡協議会/計画(1)，児童支援部会/児発(1)，就労支援ネットワーク(1)，　三原市地域自立支援協議会/運営会議(1)，三原市地域自立支援協議会(1)，広島県障害者相談支援事業連絡協議会/計画(1)，障害者プラン策定部会(1)，児童支援部会/児童発達支援定例会(1)，児童支援部会/放課後等デイサービス定例会(1)，住居確保支援会議(1)，尾三圏域ネットワーク会議(1)，権利擁護部会(1)　三原市地域自立支援協議会/運営会議(1)，三原市地域自立支援協議会(1)，広島県障害者相談支援事業連絡協議会/委託(1)，児童支援部会/ワーキング(1)，児童支援部会/管理者会議(1)，住居確保支援会議(1)，就労支援部会(1)　三原市地域自立支援協議会/運営会議(1)，三原市地域自立支援協議会/相談事前打ち合わせ(1)，三原市地域自立支援協議会(1)，住居確保支援会議(1)，権利擁護部会(1)，広島県障害者相談

		支援事業連絡協議会/全体会(1)，青年期・成人期発達障害者支援会議(1)
講師派遣	17	広島県立三原特別支援学校高等部進路説明会(1)，H29年度強度行動障害基礎研修(2)，　相談支援従事者初任者研修GR (3)，H29年度強度行動障害基礎研修(2)，民連８区研修(1)，H29年度広島県発達障害者スキルアップ研修(2)　　広島県相談支援従事者現任研修/GL(3)，強度行動障害基礎研修/GL(2)，広島県障害者相談支援事業セミナー(1)
広報活動	37	ええまちみはら(1)，ふくし情報(3)，ホームページ掲載(3)　市広報(3)，ええまちみはら(1)，ふくし情報(3)，ホームページ掲載(3)　市広報(3)，ええまちみはら(1)，ふくし情報(3)，ホームページ掲載(3)　市広報(3)，ええまちみはら(1)，ふくし情報(3)，ホームページ掲載(3)
その他	49	人にやさしい祭りづくり委員会(4)，障がい者スポーツフェスティバル実行委員会(1)，ステップ教室(1)，障害者事業所ガイダンス実行委員会(3)，平成29年度発達障害支援基礎研修(1)，ビジネスマナースキルアップ実践(1)，広島県相談支援事業等に係る人材研修(2)，アディクション対策支援者スキルアップ研修(1)，マヴィー(2)，お花見バーベキュー(1)，IT講習会(1)，スポーツに挑戦/サイクリング(2)　障害者事業所ガイダンス実行委員会(2)，陶芸にチャレンジ(1)，マヴィー(2)，人にやさしい祭りづくり委員会(1)，障がい者スポーツフェスティバル実行委員会(4)，相談支援従事者初任者研修GR研修(1)，H29年度広島県発達障害者スキルアップ研修打ち合わせ(1)，ステップ教室(3)　障害者事業所ガイダンス実行委員会(2)，障害者事業所ガイダンス(1)，お楽しみ交流会(1)，ピアサロン交流会打ち合わせ(1)，児童支援部会打ち合わせ(1)，ピアサロン交流会(1)，スポーツフェスティバル全体反省会(1)，　強度行動障害基礎研修/GL研修(1)，広島県知的障害者相談員研修(1)，尾三圏域相談支援専門員研修会(1)，広島県相談支援従事者現任研修/GL研修(1)，広島県相談支援従事者現任研修(3)，広島県障害者相談支援事業連絡協議セミナー(1)，集団指導研修(1)

○その他の事業　「当事者グループ」

＊ひまわりサロン「視覚障害者」　　月２回

＊高次脳機能障害サポートネットひろしま　　月１回

＊ほっとスマイル　　月１回

課　題　**・計画相談の対応に追われ，委託事業に求められる業務が十分に遂行できず，バランスのとれた運営にはつながらなかった。**

・ライフステージ移行において，アセスメントの共有が十分にできておらず，支援の方向性に食い違いが見られた。

・福祉サービスや地域サービスに当てはまらない，狭間の児・者に対する地域課題が浮き彫りになってきた。

・毎月の所内会議では，報告をおこなうことが中心となり，事業の振り返りやケース対応等の課題認識ができていなかった。

（２）地域活動支援センター事業

①目的

障害者の日中活動の場所と機会を提供し，交流や創作活動等を通して一人ひとりのエンパワメントを高めるための支援を行うことを目的とする。

②事業概要

・障害者の居場所の提供と交流促進
・創作活動の支援
・障害者サロン活動の支援
・スキルアップ教室等講座・支援者研修会の企画・運営
・利用者の相談および情報提供
・開所日　火曜日～土曜日（平成３０年２月から月曜日～金曜日）
・開所時間　９時００分～１７時００分（但し，土曜日は１３時００分まで）
・職員体制　管理者１人(常勤兼務)，指導員２人（常勤１人，非常勤１人）
・活動日数　　２４０日
・利用者数　　３，６５８人
・１日平均利用者数　　１５人

③利用状況

		第１期	第２期	第３期	第４期	合　計	前年度
開所日数(日)		60	63	57	60	240	246
利用者数		858	989	889	922	3658	4,124
1 日平均利用者数		14	16	16	15	15	17
再掲 障害種別	身体障害	214	241	249	229	933	1,096
	知的障害	341	415	373	399	1528	1,631
	精神障害	186	185	129	163	663	913
	重複障害	93	123	115	115	446	391
	発達障害	23	18	22	16	79	54
	その他不明	1	7	1	0	9	17

④活動内容

○サロン活動

サロン名	内容	回数	参加人数
ひまわりサロン	視覚障害者の交流・情報交換	20	84
高次脳当事者学習会	高次脳当事者の交流	12	46
高次脳家族研修会	高次脳家族への研修	12	156

○教室・サポート・研修

講座名等	講師等	開催日	参加人数
体操教室	ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ　上田　里恵　氏	毎週金曜日	277
創作の時間	スタッフ， (第３火曜日:山田 恵美子 氏)	毎週火曜日 (第３火曜日：エコクラフト教室)	72
パソコン教室	スタッフ	毎週木曜日	65
料理教室	スタッフ・ボランティア	第２水曜日	54
スポーツに挑戦 卓球サロン	スタッフ	毎週水曜日	249
スポーツに挑戦 体力作り	ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ　上田　里恵　氏	毎月第2･4 木曜日	73
サイクリング	西上　忠臣氏・県大大学学生	5／20・6／10 10／14・11／25 3／31	23

思春期プログラム	西上　忠臣氏・県大大学学生	第３金曜日他	40

○その他の活動

内　　容	場所等	開催日	参加人数
お花見バーベキュー	中央森林公園	4／2	19
ビーチボールバレー交流会	県立広島大学三原キャンパス	5／20	5
タンドール食事会	タンドール（インドカレー店）	6／3	7
ＩＴ講習会	サン・シープラザ第２会議室	6／29	4
ｱﾀﾞﾌﾟﾃｨｯﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ大会	県立広島大学三原キャンパス	7／1	8
陶芸にチャレンジ	多目的活動室	8／1	9
視覚障害者パソコン教室	サン・シープラザ第２会議室	8/2・9・16・23	4
人にやさしい祭り	駅前広場周辺	8／12	2
防災訓練＆非常食試食会	ｻﾝ･ｼｰﾌﾟﾗｻﾞ，多目的活動室	9／13	8
卓球バレー合同練習会	県立広島大学三原キャンパス	9／16	3
スポーツフェスティバル	リージョンプラザ	10／15	8
身だしなみ講座	他目的活動室，第２会議室	11／11	18
ピア交流会	呉市大和ミュージアム	11／26	18
障害者週間街頭ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ	イオン三原店前	12／3	1
お楽しみ交流会	調理自習室，多目的活動室	12／23	25
初詣	瀧宮神社	1／4	4
お菓子作り	調理実習室	2／14	10

課　題　**利用者の方が地域活動支援センターで経験したことが，一人ひとりの生活を豊かにしていく力になった。それに伴い，土曜日の閉所につながった。**
個別支援計画を作成し，それに添った対応をしていたが，スタッフの共通認識や支援の手立ての検討や評価をする時間が取れなかった。次年度はスタッフ間の共通認識を高め，さらに個々の生活のニーズに応じた個別支援計画を作成し，評価・検討をするとともに，これからも必要な情報の提供，また地域の社会資源の活用し，委託相談支援事業所として総合的な支援体制が整うよう，質の向上を図っていく必要がある。

１４．高齢者相談センターはーもにー

高齢者相談センターはーもにー(三原市北部地域包括支援センター)は,三原市からの委託を受けて運営している機関です。保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等の専門職種が，高齢者の方が住み慣れた地域で，安心して自分らしい生活を継続することができるよう，高齢者本人や家族，地域住民や地域の関係機関等からの様々な相談等に対応し，生活課題の解決に向けて支援を行っています。

また，住み慣れた地域で可能な限り生活が継続できる地域づくりを行うため，保健・医療・福祉・地域との協働体制の推進を図り，様々な取り組みを行っています。

（１）介護予防ケアマネジメント業務について

①介護予防支援・介護予防ケアマネジメントＡの状況　　（単位:人）

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合 計	平均
契約者数	要支援１	72	72	70	74	73	75	72	70	66	69	68	64	845	70
	要支援２	114	115	108	105	104	101	101	99	105	103	100	96	1251	104
合　　計		186	187	180	179	177	176	173	170	171	172	168	160	2,099	174
前年度計		192	186	191	188	188	186	188	188	187	194	195	194	2,277	189
介護予防	要支援１	64	66	67	71	67	70	68	65	61	60	57	60	776	64

プラン作成数	要支援２	104	105	100	96	97	96	93	92	94	95	91	92	1,155	96
合　　計		168	171	167	167	164	166	161	157	155	155	148	152	1,931	160
前年度計		167	169	173	170	163	168	170	171	167	168	172	176	2,037	169
内、居宅への委託件数		46	47	47	50	49	51	47	46	48	46	45	44	566	47

②地域別利用者状況　（単位：人）

八幡町	18	久井町	84	大和町	58

（２）総合相談業務について　（単位:件）

介護保険サービス	介護給付	109	保健事業（訪問・心の相談・健診紹介）	11
	予防給付	2507	健康相談・医療相談	44
	福祉用具相談	78	認知症相談	58
	住宅改修相談	92	介護相談（介護方法）	175
	認定申請等	229	入・退院時退所時相談	249
地域支援事業（総合事業）（任意事業）・その他福祉事業	総合事業	151	ケアマネへの支援・助言	45
			その他の制度利用	46
	やすらぎ支援	0	権利擁護・成年後見	119
	家族介護支援	0	虐待相談	42
	ふれあい給食	12	合　　計	3,842
	安心電話	23	前年度合計	3,144
	老人日常生活用具	2		

（３）包括的・継続的支援業務について　（単位：件）

①地域連携・多職種連携

地域ケア会議	個別課題の解決機能	7	地域包括支援ネットワーク構築機能	5
	地域課題の発見・把握機能	4	地域づくり資源・開発機能	1
	政策形成機能	0		
ケアマネジャー個別支援（相談）		13	その他	4
ケアマネジャー個別支援（同行訪問）		18	合　　計	69
ケアマネジャーへの研修開催		17	前年度計	69

②個別課題解決の地域ケア会議

困難事例	6	認知見守り支援事例	0
消費者被害	0	その他	0
虐待事例	1	合　　計	7
退院時・退所時事例	0	前年度合計	8

③会議等への参加・出席

介護保険サービス担当者会議(支援・助言)	8	地域関係者主催の会議・その他	63
介護予防サービス担当者会（委託分）	41	合　　計	132
退院・退所病院施設カンファレンス	20	前年度合計	110

④広報活動・教室

センターの広報	33	その他	1
内，介護予防教室	24	合　　計	36
権利擁護に係る広報	3	前年度合計	36

（４）認知症地域支援推進員設置運営事業について　（単位：回）

認知症サポーター養成講座	0	認知症相談	75

認知症初期集中支援チームへの依頼	5	合　　計	91
認知症に関する講座	11	前年度合計	

課　題　**地域包括ケアの深化に向け，地域づくりに向けた連絡会議や生活支援体制整備事業，見守り推進事業等との連携・協働をより一層深めていく必要がある。**

認知症の一人暮らしや老々介護，家庭内に複数の支援対象者が生活されたり等，１つの相談対応に手間と時間，他分野を含めた関係機関との連携を要するケースが多くなってきており，職員のより一層の対応力の向上等が必要である。

１５．介護保険事業並びに障害者自立支援事業

（1）居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所は，介護保険の対象サービスを適切に利用できるよう，在宅の要介護者等の依頼を受けて，その心身の状況や置かれている環境，本人や家族の希望を踏まえて，利用するサービスの種類，内容等を定めた介護サービス事業者等と連絡調整を行うとともに，介護保険施設への入所を希望する場合には，その施設への紹介やその他の便宜の提供を行う。

①居宅介護支援事業所梅林

※要介護度別利用者状況　（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1		11	11	12	12	11	10	10	11	10	10	10	10	128
要介護 2		7	8	6	7	7	7	6	4	4	3	5	4	68
要介護 3		2	1	1	3	4	4	4	4	5	5	5	5	43
要介護 4		4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	3	2	46
要介護 5		3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	35
合計		27	27	26	29	29	28	27	27	26	24	26	24	320
予防	要支援１	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	55
	要支援２	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	32
合計		6	7	7	7	8	8	8	8	7	7	7	7	87
総合計		33	34	33	36	37	36	35	35	33	31	33	31	407
前年度計		39	37	36	35	35	35	35	34	34	33	33	34	420
要介護認定		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査件数		2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	23
前年度計		0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4	26

住宅改修取扱件数：２件　　・福祉用具購入の取扱件数：３件

②居宅介護支援事業所久井

※要介護度別利用者状況　（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1		26	27	30	31	33	32	29	29	27	28	28	28	348
要介護 2		29	32	32	35	33	33	33	34	30	28	28	25	372
要介護 3		11	10	8	7	8	9	8	9	10	11	10	10	111
要介護 4		12	12	12	13	14	12	14	14	13	13	13	13	155
要介護 5		3	3	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	18
合計		81	84	84	87	89	88	85	87	81	81	80	77	1,004
予防	要支援１	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	13
	要支援２	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
合計		1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	22
総合計		82	86	86	89	91	90	87	89	83	82	82	79	1,026
前年度計		87	87	91	92	90	90	87	85	85	83	79	82	1,038

要介護認定	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
調査件数	10	7	5	6	3	2	0	0	0	1	0	0	34
前年度計	4	4	4	9	9	3	9	9	9	9	9	10	88

住宅改修取扱件数：１４件　・福祉用具購入の取扱件数：　９件

③居宅介護支援事業所大和

※要介護度別利用者状況　（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護１		32	33	31	31	32	33	30	30	36	35	32	32	387
要介護２		21	26	31	31	29	27	26	27	26	26	26	25	321
要介護３		14	13	13	17	19	18	17	17	18	15	12	12	185
要介護４		2	2	2	2	2	4	4	4	6	5	5	4	42
要介護５		3	2	3	4	3	3	3	3	3	2	2	2	33
合計		72	76	80	85	85	85	80	81	89	83	77	75	968
予防	要支援１	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	3	45
	要支援２	15	13	13	15	15	16	14	13	13	14	15	12	168
合計		19	17	17	19	19	19	18	17	17	18	18	15	213
総合計		91	93	97	104	104	104	98	98	106	101	95	90	1,181
前年度計		108	115	113	115	106	101	95	98	97	98	97	95	1,238
要介護認定		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
調査件数		5	9	8	4	3	6	3	4	6	2	7	4	61
前年度計		5	11	7	8	6	5	5	5	5	5	6	7	75

住宅改修取扱件数：５件　・福祉用具購入の取扱件数：９件

課　題　**居宅介護支援事業はもともと赤字体質の事業であり，特定事業所加算Ⅱ（大和・久井）の指定を受け増収に努めているが，利用者数はどの事業所とも年々減少しており増収にはつながらなかった。**

介護予防・日常生活支援総合事業への完全移行の中，包括支援センターとの連携を図り，情報を共有し適切なアセスメントと適切なケアプランを作成し，利用者に選択していただける事業所運営をしていくことを目指さなければならない。

職員体制では，３年措置後には管理者資格が主任ケアマネージャーとなることからも，人材の確保と育成が必須となっている。

（２）訪問介護事業所

訪問介護（ホームヘルプサービス）は，訪問介護員が要支援者・要介護者・障害者等の自宅を訪問して，入浴・排泄・食事等の介護・調理・洗濯・掃除等の家事・外出支援，生活に関する相談・助言等の日常生活に必要な支援を行う。

①ヘルパーステーション梅林

※要介護度別利用者状況　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援１	6	7	7	7	7	7	5	5	5	5	5	5	71
要支援２	10	8	8	7	8	7	7	7	7	6	6	6	87
要介護１	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	4	7	50
要介護２	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	51
要介護３	4	3	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	51
要介護４	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	8
要介護５	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害者	22	21	21	22	23	24	25	22	24	22	21	24	271
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

合　　計	52	49	50	51	53	53	52	49	52	49	49	54	613
前 年 度 計	57	55	54	54	51	53	53	52	51	50	51	54	635

訪問介護　サービス提供回数　（梅林）　（単位：回）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防介護Ⅰ		17	26	25	19	20	20	20	21	17	16	13	9	223
予防介護Ⅱ		63	60	62	58	67	54	54	51	45	46	59	58	677
予防介護Ⅲ		12	14	13	13	13	13	13	13	13	12	12	13	154
介護保険	身体介護	60	56	49	57	58	59	64	58	57	61	55	56	690
	身体生活	56	61	68	75	70	74	74	64	69	76	76	105	868
	生活援助	9	9	9	16	18	15	17	14	15	19	19	30	190
居宅介護		153	166	175	185	208	182	183	183	187	156	156	148	2,082
重度訪問介護		16	17	18	17	19	17	16	19	17	17	16	19	208
地域生活支援		25	26	26	32	36	26	33	33	33	26	30	34	360
合　　計		411	435	445	472	509	460	474	456	453	429	436	472	5,452
前 年 度 計		539	505	518	506	552	526	493	505	499	436	440	452	5,971

②ヘルパーステーション久井

※要介護度別利用者状況　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要 支 援 1	2	3	2	3	3	3	3	2	2	3	6	5	37
要 支 援 2	9	9	9	9	10	9	7	8	8	7	9	8	162
要 介 護 1	6	6	6	6	5	6	5	4	4	4	4	5	61
要 介 護 2	8	10	10	12	12	11	10	10	9	8	8	9	117
要 介 護 3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
要 介 護 4	3	3	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	29
要 介 護 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
障　害　者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	27
障　害　児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計	31	35	34	37	36	36	31	30	29	29	34	34	396
前 年 度 計	34	35	35	37	36	36	36	34	29	29	29	28	398

※訪問介護　サービス提供回数　（久井）　（単位：回）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防介護Ⅰ		16	17	18	14	21	13	11	9	7	9	16	21	172
予防介護Ⅱ		29	36	32	39	11	41	38	36	35	27	58	55	437
予防介護Ⅲ		0	27	24	25	25	24	23	33	34	22	0	12	250
介護保険	身体介護	62	88	110	109	101	97	100	90	102	111	114	137	1,221
	身体生活	49	54	51	52	48	45	45	32	31	44	46	53	550
	生活援助	78	96	100	114	106	117	97	80	61	46	47	55	997
居宅介護		9	13	11	13	12	12	13	11	10	12	11	13	140
重度訪問介護		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域生活支援		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計		243	331	346	366	324	350	327	291	280	271	292	346	3,767
前 年 度 計		398	397	437	500	485	453	434	423	355	329	347	302	4,860

③ヘルパーステーション大和

※要介護度別利用者状況　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援１	6	5	3	4	3	3	3	4	4	3	3	3	44
要支援２	10	9	7	7	8	9	7	6	6	6	5	4	84
要介護１	11	13	17	16	15	16	14	14	14	15	14	15	174
要介護２	6	5	7	7	6	5	4	4	3	3	5	8	63
要介護３	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	17
要介護４	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
要介護５	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
障害者	6	6	6	5	4	4	7	4	4	4	4	4	58
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	42	42	43	43	40	41	39	35	34	34	34	36	463
前年度計	40	40	41	41	37	38	42	43	44	42	43	41	492

※訪問介護　サービス提供回数　（大和）　（単位：回）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防介護Ⅰ		15	12	8	9	9	11	8	7	8	4	4	4	99
予防介護Ⅱ		65	66	45	25	55	54	49	43	40	24	38	32	536
予防介護Ⅲ		45	34	25	26	24	25	24	23	25	22	22	26	321
介護保険	身体介護	26	39	24	28	27	26	26	29	21	18	21	22	297
	身体生活	4	4	4	5	4	0	0	0	0	8	8	9	46
	生活援助	179	204	246	251	236	242	230	212	204	199	188	214	2,605
居宅介護		92	109	107	82	30	30	35	34	30	28	27	33	637
重度訪問介護		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
地域生活支援		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
合計		426	458	459	426	385	388	372	348	328	303	308	340	4,541
前年度計		469	471	459	466	438	420	463	471	478	408	442	455	5,440

課　題　　３事業所とも利用者の施設入所・病院への入院・死亡等又小規模多機能型事業所のサービス利用により利用者数・回数ともに年々減少している。

介護予防から日常生活支援総合事業へ完全移行となり，介護予防現行相当のサービスがいつまで続くか不安定な中で，事業対象者（緩和基準サービス）への参入も検討課題となっている。

職員体制ではヘルパー職への求職者が少なく，３事業所ともヘルパーが不足している状況である。継続してサービスの担い手となる人材を確保し，質の高いサービスを提供できるように取り組まなければならない。

（３）通所介護事業（デイサービス）

在宅で生活をしている要支援・要介護者並びに障害を対象に，送迎用の車で，デイサービスセンターへ送り迎えをし，入浴・食事・レクリエーション・機能訓練等の日帰りのサービスを提供する。

このことにより利用者の社会的孤立感の解消と心身の機能の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図っている。

①デイサービスセンター梅林

※要介護度別利用者状況　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数(日)	20	23	22	21	21	21	22	22	19	20	20	20	251
要支援・総合	9	9	7	8	8	7	7	8	8	8	9	9	97
要介護１	10	10	10	10	9	11	10	10	10	9	10	11	120
要介護２	7	7	6	7	6	6	7	7	10	8	7	5	83

要介護3	2	2	2	3	5	5	6	5	3	3	3	3	42
要介護4	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	3	2	20
要介護5	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	0	20
障害者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	31	32	30	33	32	33	34	35	36	33	34	31	394
前年度計	36	39	35	35	40	39	37	38	36	34	34	32	435

※利用者回数　　(単位:回)

(利用回数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援・総合	50	56	43	46	48	45	51	46	52	51	51	49	588
介護保険	212	241	246	246	237	245	274	276	261	237	223	177	2,875
障害者	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
合計	266	301	293	296	289	294	329	326	317	292	278	230	3,511
前年度計	355	370	331	338	367	363	378	342	318	262	312	306	4,042

②デイサービスセンター久井

※要介護度別利用者状況　　(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数(日)	25	27	26	26	25	26	26	26	24	24	24	25	304
要支援・総合	20	20	18	17	18	18	18	18	20	19	17	19	222
要介護1	13	13	15	16	15	12	13	13	12	10	11	12	155
要介護2	15	15	14	14	14	15	16	16	14	13	13	14	173
要介護3	4	4	4	4	2	2	2	3	4	4	4	5	42
要介護4	5	5	5	5	6	5	6	6	6	6	6	6	67
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	57	57	56	56	55	52	55	56	56	52	51	56	659
前年度計	56	56	59	40	56	75	57	60	58	46	57	57	703

利用回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防・総合	99	94	90	76	88	93	90	86	98	89	79	98	1,080
介護保険	268	304	305	305	273	276	293	283	258	251	272	271	3,359
障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	367	398	395	381	361	369	383	369	356	340	351	369	4,439
前年度計	422	409	411	404	395	381	389	416	374	352	375	405	4,733

③デイサービスセンター大和

※要介護度別利用者状況　　(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数(日)	25	27	26	26	25	26	26	26	24	20	24	27	302
要支援(総合)	23	22	23	21	20	20	19	18	19	19	17	17	218
要介護1	28	25	24	26	28	28	27	26	26	27	25	23	313
要介護2	22	23	25	24	20	19	18	17	15	14	16	15	228
要介護3	8	7	7	10	10	11	12	12	11	9	7	7	111
要介護4	0	0	0	0	0	0	1	1	3	3	2	2	12
要介護5	3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	21

障　害　者	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13
合　　計	85	80	82	85	81	81	80	66	76	74	69	66	925
前年度計	95	96	91	99	91	92	87	91	89	87	88	88	1,094

※利用者回数　　（単位：回）

利用回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防・総合	123	121	115	120	112	94	93	90	92	68	89	103	1,220
介護保険	480	533	556	569	540	569	553	535	468	332	425	487	6,047
障　害　者	4	5	4	8	4	4	5	4	3	3	4	4	52
合　　計	607	659	675	697	656	667	651	629	563	403	518	594	7,319
前年度計	758	746	741	771	756	705	686	727	636	616	643	696	8,481

課　題　　サービスを一体的に利用できる小規模多機能型居宅介護事業所や入所施設サービスの増加により利用者数は年々減少している。

施設管理面では，３事業所とも経年により老朽化し，入浴設備・備品・送迎用車両等の大きな修繕等が必要となり経営を圧迫している状況にある。

介護予防から日常生活支援総合事業へ完全移行となり，介護予防現行相当のサービスがいつまで続くか不安定な中で，事業対象者（緩和基準サービス）への参入も検討課題となっている。

職員体制では人材の確保と育成が大きな課題である。

（４）訪問入浴介護事業所

要介護者・障害者の自宅を訪問し，浴槽を家庭に持参して入浴の介護を行い，清潔保持と心身機能の維持等を図る。

①訪問入浴介護事業所梅林

※介護度別利用人数　　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護１	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護２	1	2	2	2	2	2	4	3	1	2	2	1	24
要介護３	4	3	2	2	2	2	2	2	2	0	0	1	22
要介護４	2	2	2	2	3	3	2	2	2	1	2	1	24
要介護５	4	4	5	5	5	4	4	4	4	3	4	3	49
身障者	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	59
合　　計	16	15	16	16	17	16	17	16	14	11	13	11	178
前年度計	15	16	16	15	14	15	16	17	18	17	16	15	190

※介護度別延利用回数　　（単位：回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護１	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護２	1	11	12	13	13	11	17	16	8	16	12	9	139
要介護３	22	18	11	9	11	11	11	12	10	0	0	4	119
要介護４	5	6	5	5	8	7	6	4	3	1	3	1	54
要介護５	16	19	17	21	20	18	19	20	16	11	14	17	208
身障者	27	31	30	29	26	30	31	29	30	23	28	31	345
合　　計	71	85	75	77	78	77	84	81	67	51	57	62	865
前年度計	68	71	76	78	77	78	75	85	77	77	79	84	925

課　題　　身体障害者，要介護者とも重度の方の利用者が多く，症状の変化（入退院）によりサービス利用が安定せず，新規利用者の確保も困難となっている。

障害者の利用人数の累計・利用延べ回数はあまり変動はないが，平成２９年度よ

り利用回数の制限等があり，利用回数の減少が予想される。継続して新規利用者を確保して，安定した事業所を運営する。
職員体制では，人材確保と育成が大きな課題となっている。

（5）三原市福祉･介護人材確保等総合支援協議会
協議会委員　９人
①日　時　　平成２９年9月２１日（木）１３時３０分～
・委員長及び副委員長の互選について　・情報交換　・アンケート調査についてなど
②日　時　　平成２９年１１月１４日（火）１３時３０分～
・実態調査アンケートについて
③日　時　　平成３０年2月２１日（水）１３時３０分～
・アンケート調査の結果報告について
④日　時　　平成３０年3月２７日（火）１３時３０分～
・今後の取り組みについて

１６．福祉機器の貸し出し状況

車椅子・電動ベッド・ポータブルトイレ等

○三原地域センター

車椅子	５４件	電動ベッド	４０件	移動バー	３件

○本郷地域センター

車椅子	８件	電動ベッド	１１件	ポータブルトイレ	３件
シャワーチェアー	１件	杖	１件		

○久井地域センター

車椅子	７件	電動ベッド	０件	ポータブルトイレ	０件

○大和地域センター

車椅子	１３件	電動ベッド	１件	ポータブルトイレ	１件
４点杖	０件	歩行器	１件	吸引器	１件

１７．社協会費・寄付金受入状況

①社協会費

区　分	住民会費		賛助会費		団体会費	
合　　計	27,070 件	4,237,640 円	288 件	912,000 円	11 件	107,000 円
前年度計	27,701 件	4,361,300 円	300 件	949,000 円	11 件	107,000 円

②寄付金

区 分	香典返し		見舞返し		一　般		ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ基金		物　品
合　計	145 件	2,785,000 円	17 件	200,000 円	69 件	4,875,961 円	0 件	0 円	4 件
前年度計	156 件	3,444,000 円	27 件	375,000 円	49 件	642,400 円	0 件	0 円	4 件

③社協会費・寄付金合計

区　分	社協会費	寄 付 金	合　　計
合　　計	5,256,640 円	7,860,961 円	13,117,601 円
前年度計	5,417,300 円	4,461,400 円	9,878,700 円

１８．役員・評議員及び職員の研修

（1）職員研修

①全体研修会

日　時　平成２９年１２月１９日(火)　１８時３０分～２０時００分
会　場　三原市本郷福祉センター

参加者　７９人
内　容　「知っておきたい社会保険と税金の話」～老後不安から脱出しよう～
講師：ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙﾌﾟﾗﾝﾅｰ・ｷｬﾘｱｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ　幸田　洋子氏

②職員研修
日　時　平成２９年１２月８日（金）　１３時００分～１５時３０分
会　場　久井保健福祉センター
参加者　地域福祉課・介護事業課職員　２３人
内　容　制度改正（地域包括ケア・地域共生）の理解と部門間連携の必要性について
講師：ローカリズム・ラボ　代表　井岡　仁志氏

１９．理事会・評議員会・正副会長会議・部会・監査の実施状況

（1）理事会

回	年　月　日	議　　案
1回	平成２９年　6月　9日	1）平成 28 年度三原市社会福祉協議会事業報告について 2）平成 28 年度三原市社会福祉協議会決算報告について 3）平成 28 年度三原市社会福祉協議会監査報告について 4）三原市社会福祉協議会定款の一部改正について 5）三原市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 6）社会福祉充実計画について 7）平成 29 年度三原市社会福祉協議第１次予算（案）について 8）第 1 回評議員会（定時評議員会）の開催について
2回	平成２９年　6月２６日	1）三原市社会福祉協議会会長・副会長の互選について 2）三原市社会福祉協議会部会の構成について
3回	平成２９年１０月　6日	1）平成 29 年度三原市社会福祉協議会第 2 次資金収支補正予算について 2）三原市社会福祉協議会諸規程等の一部改正について 3）三原市社会福祉協議会会長表彰候補者・団体の審査について 4）三原市社会福祉協議会第 1 回執務執行状況報告について
4回	平成３０年　3月１５日	1）平成 29 年度三原市社会福祉協議会第 3 次資金収支補正予算について 2）平成 30 年度三原市社会福祉協議会事業計画（案）について 3）平成 30 年度三原市社会福祉協議会資金収支予算（案）について 4）三原市社会福祉協議会事務局長の選任について 5）三原市社会福祉協議会第 2 回評議員会の召集について 6）三原市社会福祉協議会諸規程の一部改正について 7）三原市社会福祉協議会第 2 回執務執行状況報告について

（2）評議員会

回	年　月　日	議　　案
1回	平成２９年 6月２６日	1）平成 28 年度三原市社会福祉協議会事業報告について 2）平成 28 年度三原市社会福祉協議会決算報告について 3）平成 28 年度三原市社会福祉協議会監査報告について 4）三原市社会福祉協議会定款の一部改正について 5）社会福祉充実計画（案）について 6）平成 29 年度三原市社会福祉協議第１次予算（案）について 7）三原市社会福祉協議会役員の選任について

2回	平成３０年　３月１５日	1）平成29年度三原市社会福祉協議会事業計画(案)について 2）平成29年度三原市社会福祉協議会資金収支予算(案)について 3）三原市社会福祉協議会定款細則の一部改正について 4）三原市社会福祉協議会諸規程の一部改正について

（3）正副会長会議

回	年　月　日	議　　案
1回	平成２９年 ６月　９日	1）平成28年度三原市社会福祉協議会事業報告について 2）平成28年度三原市社会福祉協議会決算報告について

（4）部　会

①総務財政部会（部会員　４人）

日　時　　平成２９年　６月２６日（月）

・総務財政部会長・副部会長の選任

日　時　　平成３０年　３月　５日（月）　５人出席（部員３人，事務局２人）

・平成２８年度収支状況（１月末現在）について

・平成２８年度収支見込み（予算案）について

②地域福祉部会（部会員　５人）

日　時　　平成２９年　６月２６日（月）

・地域福祉部会長・副部会長の選任

日　時　　平成３０年　３月　８日（木）　６人出席（部員３人，事務局３人）

・平成２９年度事業の取り組み状況について

・平成３０年度事業基本方針及び重点目標について

・平成３０年度事業計画（案）について

・今後の予定

③在宅福祉部会（部会委員　５人）

日　時　　平成２９年　６月２６日（月）

・在宅福祉部会長・副部会長の選任

日　時　　平成３０年　２月２８日（水）　５人出席（部会委員２人，事務局３人）

・平成２９年度介護保険事業収支状況（平成30年１月末現在）

・障害福祉の現状と課題及び介護保険の動向について

・その他

（5）監　　査

①日　時　　平成２９年　６月 ２日（金）　１０時００分～１５時００分

・監事２人により，事業並びに会計の決算監査を行う。

②日　時　　平成２９年１２月 ４日（月）　　９時００分～１２時００分

・監事監査マニュアルを活用した定期監査

出納･財務 ・ 契約状況 ・ 業務執行の状況など